

# 大阪公立大学大学院

## 現代システム科学研究科

### 博士前期課程・博士後期課程学生募集要項

2022年度秋入学

博士前期課程  
外国人留学生特別選抜

博士後期課程  
一般選抜  
社会人特別選抜  
外国人留学生特別選抜



<新型コロナウイルス感染症への対応について>

新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学入試情報サイト

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>



2022年4月  
大阪公立大学

# 目 次

アドミッション・ポリシー .....	1
《博士前期課程》	
外国人留学生特別選抜 .....	4
博士前期課程 研究科概要 .....	16
博士前期課程 教員メールアドレス一覧 .....	23
《博士後期課程》	
一般選抜 .....	27
社会人特別選抜 .....	35
外国人留学生特別選抜 .....	44
博士後期課程 全選抜共通事項 .....	52
博士後期課程 研究科概要 .....	55
博士後期課程 教員メールアドレス一覧 .....	60
＜ 出 願 書 類 ＞	
・ 入 学 願 書 (博士前期課程：外国人留学生特別選抜) (博士後期課程：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜)	
・ 受 験 票 (共 通)	
・ 写 真 票 (共 通)	
・ 研 究 計 画 書 (共 通)	
・ 事 前 面 談 確 認 書 (共 通)	
＜ 出 願 資 格 審 査 用 書 類 ＞	
・ 出 願 資 格 審 査 調 書 (共 通)	
・ 研 究 経 過 報 告 書 (博士後期課程：全選抜共通)	

# 現代システム科学研究科 アドミッション・ポリシー

科学技術の発達、生産・流通・情報通信のグローバル化、都市化の進展、地域社会の変容といった現代世界に特徴的な動きは、恩恵や利便をもたらす一方で、軋轢や格差の増幅、自然環境の変動による危機も生み出しながら進み、人間の生活を大きく変えつつある。

大規模で根源的な変化のなかで、従来からあった社会的対立や不条理があらわになり、新しく生じた矛盾も加わって、これまでの知識と価値観では理解も対応も困難な問題群を私たちは抱えることになった。社会的公正の実現が難しくなり、個人は未知の不安や恐怖を経験している。

諸科学によるこれまでの知的な積み上げをどう活かすか、どう変えていくかが問われてもいる。人類的規模で経験する変化の時代における喫緊の課題は、変化の意味と矛盾を見極め、グローバルな視点に立って問題群に対応し、持続可能な社会の実現に貢献しうる、力ある闊達な知の創成であるのはまちがいない、それは地域社会の活性化にも繋がるはずである。

そのような知を創成するためには、人間、社会、自然、科学技術の諸相について、現象を多様な要素の相互作用からなるシステムとして捉える視座から過去の検証と現在の分析を重ね、未来を展望することが求められる。

現代システム科学研究科は、こうした課題に積極的に向き合い、諸科学の深化・発展に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献する意欲的な知性の養成を責務とする。

こうした観点から、以下のような能力と姿勢を持つ学生を歓迎する。

1. 基礎的な研究能力を備え、異なる領域の研究成果への関心と理解力、および具体的な問題への応用力を有していること
2. 論理的思考力を備え、公正で多角的な視点に立つ探究心を有していること
3. 最新の知見から学ぶ意欲と向上心を持ち、持続可能な社会の実現と次世代への知的継承に積極的な姿勢を有していること

本研究科では、地域と世界に開かれた学府として積極的に知の交流を行い、上記の責務を果たすことに全力で取り組む。

## 博士前期課程 現代システム科学専攻 アドミッション・ポリシー

本専攻博士前期課程では、自らの専門領域における高度な研究を遂行する能力と、他領域の研究を理解し協働する力を兼ね備え、実社会における問題に適切かつ効果的な解決策を提供することで持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成する。したがって、本専攻博士前期課程では次のような学生を求める。

1. 環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学のいずれかにおける基礎的な研究能力を備え、異なる領域の研究成果への関心と理解力、および具体的な問題への応用力を有している人
2. 論理的思考力を備え、公正で多角的な視点に立つ探究心を有している人
3. 最新の知見から学ぶ意欲と向上心を持ち、持続可能な社会の実現に積極的な姿勢を有している人

以上に基づき、本専攻博士前期課程にふさわしい学生を迎えるため、次の1～5の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

1. 学士課程において幅広い科目を履修し、高い学力を有していること
2. 環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学のいずれかにおける専門的知識と基礎的な方法論を身に付けていること
3. 当該領域における文献読解の能力を備えていること
4. 研究に必要な論理的思考力および分析力を有していること
5. 研究に強い意欲を持ち、持続可能な社会の実現に積極的な姿勢を有していること

## 博士後期課程 現代システム科学専攻 アドミッション・ポリシー

本専攻博士後期課程では、自らの専門領域における高度な研究を立案し、自律的に研究を遂行する能力と他領域の研究者と協働する力を兼ね備え、現代社会への俯瞰的視点に基づく学術研究を通して持続可能社会の実現に貢献する研究者・研究型専門職業人・教員等を育成する。したがって、本専攻博士後期課程では次のような学生を求める。

1. 環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、心理学のいずれかにおける研究能力を備え、異なる領域の研究成果を理解して学際的な研究に取り組むための素養を有している人
2. 高度な論理的思考力と分析力を備え、公正で多角的な視点に立つ探究心を有している人
3. 新たな専門的知見を切り拓く強い意欲を持ち、学術研究によって持続可能な社会の実現に寄与する意思を有している人

以上に基づき、本専攻博士後期課程にふさわしい学生を迎えるため、次の1～5の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

1. 環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、心理学のいずれかにおける高度な専門的知識を有していること
2. 自らの専門領域における学術研究の方法論を身に付けていること
3. 専門領域の学術文献を理解し、他の研究者とコミュニケーションする能力を備えていること
4. 学術研究を遂行するために必要な高度な論理的思考力および分析力を有していること
5. 自ら問題を発見して研究を遂行することに強い意欲を持ち、持続可能な社会の実現に寄与することに積極的な姿勢を有していること

## 博士前期課程

### 外国人留学生特別選抜学生募集要項

#### 〔1〕募集人員

専攻	分野	募集人員
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名
	言語文化科学分野	
	人間科学分野	
	社会福祉学分野	
	臨床心理学分野	
	認知行動科学分野	

#### 〔2〕出願資格

日本国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学時までに「留学」の在留資格を取得できる見込みの者、かつ次の各号のいずれかに該当する者。なお、我が国の大学等を卒業および卒業見込みの者においては、外国人留学生特別選抜制度により入学又は編入学した者に限る。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月30日までに修了見込みの者
- (2) 我が国の大学を卒業した者及び2022年9月30日までに卒業見込みの者
- (3) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程<sup>(\*)1</sup>を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年9月30日までに修了見込みの者  
\*1 その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校<sup>(\*)2</sup>において、修業年限が3年以上である課程を修了すること<sup>(\*)3</sup>により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者  
\*2 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。  
\*3 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程<sup>(\*)4</sup>で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年9月30日までに修了見込みの者  
\*4 修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日までに22歳に達する者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

#### 【 注意事項 】

・上記(9)(10)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。

- ・「留学」の在留資格を有しない者又は取得しない者が出願を希望する場合は、2022年7月1日（金）までに志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

### 〔3〕出願資格審査

出願資格(9)(10)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.23参照）。**

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。**出願資格(1)～(8)による志願者は、出願資格審査は不要です。**

#### 〈1〉提出書類等

本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

#### ○ 出願資格(9)(10)による志願者

1. 出願資格審査調書（本研究科所定の様式を使用してください。）
2. 学習成果報告書（日本語の場合 2,000 字程度、英語の場合 800 語程度）  
書式は問いません。出願の根拠となる教育課程における学習について記述してください。その後、学習を継続している場合には、その後の学習成果についても記述してください。
3. 事前面談確認書（本研究科所定の様式を使用してください。）

#### 【 注意事項 】

- ・ **提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・ 本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

#### 〈2〉受付期間等

受付期間	送付先（問合せ先）
2022年6月14日（火）～6月16日（木） <b>必着</b>  (注)簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。	〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス） Tel : 072 - 254 - 8319  (注) 封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

上記受付期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。**

- ・ 分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
- ・ 審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
- ・ 2022年度秋入学の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ2023年度春入学第2次募集の出願資格審査を免除とします。

### 〔4〕出願手続

**出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること（P.23参照）。**出願登録は、相談を済ませた後に行ってください。

出願手続はインターネット出願により行います。

※日本国外（海外）から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、2022年7月1日（金）までに、志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

〈1〉出願期間

項目	期間
インターネット出願登録期間	2022年7月1日(金)10時～7月14日(木)17時(※)
出願に必要な書類提出期間	2022年7月12日(火)～7月14日(木)消印有効(注) 簡易書留で郵送してください。

(※) インターネット出願登録期間内は出願登録が可能ですが、出願書類は簡易書留郵便にて、2022年7月14日(木)消印有効ですので、余裕をもって登録してください。

(注) EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とします。

上記書類提出期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈2〉出願方法

次のstep 1～step 6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 <a href="mailto:@sak-sak.net">@sak-sak.net</a> を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.7〔4〕出願手続〈4〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・以下の2種類の封筒をご用意ください。 ①市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)……出願書類等郵送用 ②市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に404円分の切手を貼付したもの……受験票等送付用

●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL <a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html</a>

●出願登録	
step 3	・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手続」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

●入学検定料等の支払い				
step 4	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(P.7〔4〕出願手続〈3〉入学検定料等の支払方法 参照)			
	・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。			
	(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング	



step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4 用紙に片面で印刷してください。</li> <li>・インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。</li> </ul>

step 6	●出願書類の郵送、提出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.7〔4〕出願手続〈4〉出願書類等 参照）</li> <li>・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。</li> <li>・書類提出期間内に書類の提出がなければ、出願を受理しません。（P.6〔4〕出願手続〈1〉出願期間参照）</li> </ul>

〈3〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

〈4〉出願書類等

志願者は出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて書類提出期間内に提出してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

**出願書類は、必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に封入してください。**

※P.5〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票 (大学提出用)	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。 ・履歴書を含みます。
4	受験票	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。

6	研究計画書	環境共生科学分野 臨床心理学分野 認知行動科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する学修・研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。</li> </ul>
		言語文化化学分野 人間科学分野 社会福祉学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する学修・研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を全体として日本語で 3,000 字程度で記述してください。</li> </ul>
7	卒業（修了）証明書又は 同見込証明書 （出願資格を証明する書類）*		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学の学長又は学部長等が発行したもの。</li> <li>・出願資格（3）に該当する者は、学位授与証明書又は同見込証明書。</li> <li>・外国の大学その他の外国の学校を修了又は修了見込みの者は学位取得（見込み）が明記されているもの。出身学校において卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方（原本）を提出してください。</li> </ul>
8	成績証明書*		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・学部長等が発行したもの。</li> <li>・高等専門学校出身者は本科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。</li> <li>・編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。</li> </ul>
9	TOEIC 又は TOEFL の スコア証明書の 原本	環境共生科学分野 認知行動科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年 4 月以降に実施された TOEIC Listening&amp;Reading 公開テストの TOEIC Listening&amp;Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証、TOEIC-IP は不可）又は TOEFL iBT の Test Taker Score Report の原本。</li> <li>・コピーや Web 上からダウンロードされたスコア証明書及び ETS から直接本学へ送付されたスコア証明書は不可。<b>提出されたスコア証明書は返却しません。</b> *TOEFL iBT の「Test Taker Score Report」については、TestDate スコアのみを出願スコアとして活用します。（MyBest<sup>TM</sup>スコアは活用しません）</li> <li>・TOEFL iBT (Special) Home Edition のスコア証明書は認めません。</li> <li>・出願時にスコア証明書を提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式随意）を出願書類とともに提出してください。</li> <li>・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合、再提出を認めます。</li> <li>・出願時にスコア証明書を未提出又は、より良い成績のスコア証明書を再提出する場合、入学試験当日（初日）の 1 時間目開始前に、スコア証明書の原本を監督者へ提出してください。</li> <li>・スコア証明書を提出できない場合であっても受験することは出来ますが、外部試験結果による成績評価は、0 点となります。</li> </ul>
10	志望する分野に 関連する卒業論文 （提出予定のもの を含む）又は これに代わる論文	環境共生科学分野 認知行動科学分野	<p>志望する研究領域に関する卒業論文又はその概要、あるいは卒業論文に代わる論文又はその概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文又はその概要は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。</li> <li>・日本語又は英語以外の外国語で書かれた論文には、<b>必ず日本語訳又は英語訳を添付</b>してください。</li> </ul> <p>※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</p>
		臨床心理学分野 人間科学分野	<p>志望する研究領域に関する卒業論文あるいは卒業論文に代わる論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。</li> <li>・日本語以外で書かれた論文には、<b>必ず日本語訳を添付</b>してください。</li> </ul> <p>※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</p>
		言語文化化学分野	<p>志望する研究領域に関する卒業論文あるいは卒業論文に代わる論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文は、題目及び氏名を明記し、6 部（コピー可）提出してください。</li> <li>・卒業論文に代わる論文は日本語の場合 8,000 字以上、英語の場合 2,000 語以上にしてください。日本語又は英語以外の外国語で書かれた論文には、<b>必ず日本語訳又は英語訳を添付</b>してください。</li> </ul> <p>※なお、提出された卒業論文等は返却しません。</p>

11	在留カード（両面）のコピー	・在留カードの両面をコピーしたもの。 ・海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出してください。
12	事前面談確認書	・本研究所所定の事前面談確認書に志望する分野の教員の署名・捺印を受けたもの。
13	受験票等送付用封筒 （送付先は日本国内に限る）	・市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入し、404円分の切手を貼り付けてください。 ※氏名には必ず「様」を付けてください。 （注）出願書類を入試課に直接提出する場合でも、受験票等送付用封筒が必要です。
14	出願資格認定書 《出願資格審査により 出願資格を認められた者のみ》	「〔3〕出願資格審査」を参照してください。

※「卒業（修了）証明書又は同見込証明書」（出願資格を証明する書類）、「成績証明書」について

大阪府立大学又は大阪市立大学在学学生（正規生）であって、卒業（修了）見込証明書及び成績証明書を入試課で代理取得することを希望する者については、出願時の上記証明書の提出を省略できるものとします。出願書類に上記証明書が同封されていなかった場合、入試課での代理取得を希望したものとして取り扱います。上記対応で支障がある場合は、各自で上記証明書を取得してください。

### 【 注意事項 】

- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・各証明書については、複写したものでは出願できません。  
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
- ・**出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- ・提出された出願書類は返却しません。

#### 〈5〉出願についての注意

- (1) P.6〔4〕出願手続〈1〉出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて書類提出期間内に必着又は持参提出）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。**
- (2) 志願者情報の入力について  
住所は、受験票等送付時点で郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072-254-8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
- (3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。  
○還付可能な事由
  - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
  - ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
  - ・重複して入学検定料を払い込みした場合
 （注）還付方法等は、出願締切日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

#### 〈6〉受験票等の送付について

出願手続を完了した者には、「受験票」と「受験上の注意」を発送します。

2022年7月26日（火）頃に簡易書留郵便で発送予定です。2022年7月29日（金）を過ぎても未着の場合は、入試課まで問い合わせてください。Tel：072-254-8319

#### 〈7〉受験上の配慮について

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。

Tel：072-254-8319、E-mail：gr-nyurask3@omu.ac.jp

## 〔5〕試験日程

分野	試験日程
環境共生科学分野	2022年8月30日(火)
言語文化学分野	
人間科学分野	2022年8月30日(火)・31日(水)
社会福祉学分野	2022年8月30日(火)
臨床心理学分野	2022年8月30日(火)・31日(水) ※ただし、31日(水)は筆記試験合格者のみ
認知行動科学分野	2022年8月30日(火)

### 予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

分野	予備日
環境共生科学分野	2022年8月31日(水)
言語文化学分野	
人間科学分野	2022年9月1日(木)
社会福祉学分野	2022年8月31日(水)
臨床心理学分野	2022年9月1日(木)
認知行動科学分野	2022年8月31日(水)

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。【 <https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/> 】

## 〔6〕入学者選考方法

- (1) 入学者の選考は、筆記試験、口頭試問、外部試験成績（環境共生科学分野と認知行動科学分野のみ）、研究計画書、卒業論文等（社会福祉学分野を除く）、その他の提出書類を総合して行います。ただし、臨床心理学分野においては筆記試験の合格者を発表し、口頭試問は筆記試験合格者に対して行います。
- (2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。
- (3) 出願書類などから判断して、筆記試験を免除することがあります。筆記試験免除者は「口頭試問」を受験してください。
- (4) 口頭試問については、遠隔中継による試験（国外試験）を実施することがあります。
- (5) 試験科目ならびに日程については次の通りです。

専攻	分野	2022年8月30日(火)		8月31日(水)	外部試験成績の利用
		10:00~12:00	14:00~	10:00~	
		専門科目	口頭試問	口頭試問	
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	【別表】 参照 (P.12)	研究計画書について問う。(日本語あるいは英語で行う)		2021年4月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。
	言語文化学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。 (日本語で解答をもとめる。言語文化に関する日本語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む)	研究計画書について問う。(日本語で行う)		
	人間科学分野	【別表】 参照 (P.12)		研究計画書について問う。(日本語で行う)	
	社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。 <sup>*</sup> (日本語で解答をもとめる。社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む)	研究計画書について問う。(日本語で行う)		
	臨床心理学分野	基礎心理学および臨床心理学に関する筆記試験。 (日本語で出題、日本語で解答をもとめる。日本で心理臨床活動を実践するための心理臨床の基礎知識および応用力を問う)		日本語で行う。研究計画書について問う。日本で心理臨床活動を実践することに適した日本語運用能力についても問う。  なお、口頭試問は筆記試験合格者に対して行います。筆記試験合格者は30日18時30分までに、B3棟玄関に掲示します。	
	認知行動科学分野	心理学、人間情報学、建築環境学に関する筆記試験。 (日本語で解答をもとめる。心理学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む)	研究計画書について問う。(日本語で行う)		2021年4月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL の成績を利用する。

\*筆記試験免除者の口頭試問の開始時刻は変更になる場合があります。変更する場合のみ、本人あてに連絡します。

**【 注意事項 】**

\*社会福祉学分野の専門科目の受験に限り、英語辞書（電子辞書を除く）の持ち込みを1冊に限り認めます。必要とする場合は、各自で持参してください。

**【別表】** 環境共生科学分野と人間科学分野については、入学願書に必ず試験区分を記入してください。

### 環境共生科学分野

志望する研究領域に関する筆記試験。（日本語あるいは英語による設問を含む）

次のA～Bの試験区分より1つを出願時に選択し、試験当日は選択した試験区分より解答する。

試験区分	専門試験科目
A	自然科学系環境学（保全生態学、景観計画学、公衆衛生学、海洋環境学、環境化学、地質学、植物生産科学、都市防災学、環境デザイン学）
B	社会科学系環境学（政策、経済、私法）

### 人間科学分野


志望する研究領域に関する筆記試験。（日本語で解答をもとめる。人間科学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む）

次のA～Eの試験区分より1つを出願時に選択し、試験当日は選択した試験区分より解答する。

試験区分	専門試験科目
A	社会学、人文地理学、文化人類学
B	文化史、思想史
C	人権・マイノリティ研究（左に関わる社会思想、教育社会学、都市社会学、近現代史の領域から、方法論横断的に出題する）
D	ジェンダー研究・セクシュアリティ研究
E	教育学、倫理学、哲学

## 〔7〕合格者発表

### 〈1〉合格者発表

発表日時	掲載場所
2022年9月6日（火）10時	<a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html</a> 

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の10時から合格者発表日を含む7日目の17時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

### 〈2〉合格通知書及び入学手続書類

合格者には合格通知書とともに入学手続書類を送付（簡易書留郵便）します。

## 〔8〕入学手続

### 〈1〉入学の時期

2022年9月24日

※ただし、2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者の入学日は、2022年10月1日（土）になります。

### 〈2〉入学手続

2022年9月6日（火）～9月16日（金）必着

郵送で期間内必着です。ただし、9月16日を過ぎて書類が到着した場合、9月14日消印有効（日本国内の発信局の消印で、簡易書留速達郵便に限る。EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とする。）として受理します。

上記受付期間内の月曜日～金曜日（土日除く）の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパス A3 棟 3 階入試課に直接提出することができます。

入学手続の詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。

## 〔9〕学費（入学料・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

### 〈1〉入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2022年秋入学者の場合は2021年9月24日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

※2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者は、2021年10月1日以前から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。

### 〈2〉授業料 [年額] 535,800 円

- ・授業料は、年額の1/2を半期毎に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただけます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

## 〔10〕長期履修制度

### (1) 趣旨

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

### (2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、所定の書類を所定の期日までに提出して、長期履修を出願することができます。

- a. 職業を有する者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）で、標準修業年限で修了することが困難な者
- b. 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者

- c. その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 修業年限  
長期履修の期間は、博士前期課程の場合は、3年又は4年とします。  
また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、「長期履修期間短縮願」を提出することにより、履修期間を短縮することができます。
- (4) 長期履修制度にかかる授業料（年額）  
通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。  
また、長期履修期間の短縮が認められた場合は本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。  
なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。
- (5) 長期履修願の提出期限  
入学前申請者は入学願書の出願時が提出期限です。事前に指導を希望する教員と相談の上、提出してください。入学後の提出は認められますが、長期履修の期間は1年を単位とし、学年の途中から開始することはできません。入学後の申請は、指導教員と相談の上、春入学者は長期履修を希望する前年度の1月末日まで、秋入学者は長期履修を希望する当該年度の7月末日までを提出期限とします。なお、長期履修の許可は、研究科企画運営会議の議を経て学長が許可します。
- (6) 長期履修の許可  
長期履修の許可については、決定後連絡します。
- (7) 長期履修についての提出書類の請求及び問合せ先  
大阪公立大学 教育推進課（中百舌鳥キャンパス）  
教務グループ 現代システム科学研究科教務担当（Tel：072 - 254 - 9552）

## [11] その他

### <1> 個人情報保護の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

### <2> 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

- (1) 提供期間  
2022年11月1日（火）10時～2022年11月30日（水）15時まで
- (2) 提供対象者  
受験者本人に限ります。
- (3) 請求方法  
下記 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

[https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam\\_info/score.html](https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/score.html)

- ア. 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、出願登録時にものみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱いに十分注意してください。
- イ. 成績開示用パスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。
- ウ. 本人確認として生年月日の入力が必要です。

- <3> 入学日が10月1日の者も、9月24日から開始している後期の授業を受講することができます。



〈4〉公認心理師について

公認心理師試験受験資格を取得するためには、学士課程において文部科学省と厚生労働省で指定されたカリキュラムを履修済みである必要がありますので、ご注意ください。

〈5〉自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/>

〈6〉入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。

〈7〉本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び技術の提供の観点から厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

## 〔12〕経済支援制度について

### 【<大阪府の支援>大阪公立大学等授業料等支援制度】

大阪府では、親の経済事情や家庭の個別事情によって、大阪の子どもたちが進学を諦めることなくチャレンジできるよう、大阪で子育てをしている世帯への支援として、国の制度に府の独自制度を加え、授業料等の無償化（減免）を実施します。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

<大阪府公式サイト 大阪府立大学・大阪市立大学の授業料等支援制度>

<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/musyo/index.html>



※なお、申請等の詳細については、確定次第改めて大阪公立大学の Web サイトにてご案内します。

## 〔13〕問合せ先

大阪公立大学

入試課（中百舌鳥キャンパス）現代システム科学研究科担当

〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号

Tel : 072 - 254 - 8319

## 現代システム科学研究科 博士前期課程の概要

現代システム科学研究科現代システム科学専攻は、環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、臨床心理学、認知行動科学の各専門領域における教育研究を深化させるとともに、領域を横断する学問的交流を促進することにより、従来の学術領域の枠組みにとらわれない発想にもとづく教育研究を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する人材育成と研究の拠点となることを目指します。

### 【環境共生科学分野】

地域・国・国際社会レベルに広がる重層的な人と自然とのつながりを解きほぐしつつ、技術面のみならず法律や経済といった社会科学的知見を活用してその課題解決に取り組む能力を身につける教育研究を行います。博士前期課程では、それぞれの専門的知識と技能を用いて、高い倫理観、使命感を持って持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。

▶▶▶ 博士前期課程 担当教員 (2022年4月現在)

<自然科学系環境学>

氏名	研究領域	研究内容
阿久井 康平 (助教)	環境デザイン学 都市計画学	持続可能な都市構造の実現に向けた都市・地域計画／都市空間の計画とデザイン／景観まちづくりに関する研究実践／景観論（景観工学・景観史）に関する研究／都市形成史に関する研究
生田 英輔 (教授)	都市防災学	災害時の人的被害発生メカニズムの解明／コミュニティ防災による災害対策／防災人材育成システムの開発／避難行動／防災意識／防災教育
伊藤 康人 (教授)	地質学	プレート収束境界のテクトニックプロセス研究／物理探査技術に基づく活断層評価／大量絶滅イベントに関連する古環境変動解析／新第三系の層序学的研究
大塚 耕司 (教授)	海洋環境学	閉鎖性海域の環境修復／海産バイオマスを利用した物質循環システムの構築／海洋深層水の多目的利用／環境－経済統一指標を用いた包括的環境影響評価
大山 克己 (教授)	植物生産科学	植物工場（垂直農場）を含む植物生産システムのエネルギーおよび物質収支解析／植物生産システムにおける生産性向上／環境計測制御技術の開発／植物の環境応答
興津 健二 (教授)	環境化学	物理化学的手法を利用する水処理技術の開発／機能性ナノ材料の創製と応用に関する研究／超音波化学反応とソノプロセスの開発
黒田 桂菜 (准教授)	海洋環境学	海陸一体型物質循環型社会の構築に関する研究：未活用海産バイオマスの有効利用／エクセルギーを用いた持続可能性評価／環境意識／漁業・魚食の活性化
下村 泰彦* (教授)	環境計画学	都市域および周辺地域での景観まちづくり手法／自然・歴史・文化的環境等に基づく緑地計画／自然・人文・社会的要因等の環境指標を用いたエコロジカル・プランニングに関する研究
竹中 規訓 (教授)	環境化学 異相化学	水の相変化に伴う反応の研究／環境中の窒素化合物の動態解明／環境中の微量物質の分析と反応と新規測定法の開発／バイオ燃料の使用による環境影響調査
中山 祐一郎 (教授)	雑草学 環境生物学	雑草性植物の生態と進化／高山帯における侵入植物対策／都市河川・緑地における絶滅危惧植物の保全と植生管理
花村 周寛 (准教授)	風景異化論 環境表象学 デザインサイエンス	ランドスケープ及び建築空間のデザイン／環境への主体の意識のデザイン／現代アートを用いた人間と環境との関係の異化実践／自然現象や社会現象における形態変容プロセス

氏名	研究領域	研究内容
藤井 佑介 (助教)	大気環境学	野外／室内実験に基づく大気汚染に関する環境影響メカニズムの 解明及びその評価
星 英之 (准教授)	公衆衛生学	人と動物との共生／飼い主のいない猫の適正管理に関する研究／ 野生獣肉の衛生的な利用方法に関する研究／動物の忌避因子に関 する研究

\*2023年3月退職予定

<社会科学系環境学>

氏名	研究領域	研究内容
遠藤 崇浩 (教授)	環境政策学	水害／水不足／地下水の過剰くみ上げ／地下水汚染といった水問 題に対する制度的対応の研究
住田 守道 (准教授)	不法行為法学	交通事故・公害・被害等における人身損害賠償／不法行為法の研 究（日仏）
千葉 知世 (准教授)	環境政策学 環境ガバナンス	海洋ごみ・漂着ごみ問題をめぐる政策とガバナンス／地下水保全 管理の政策とガバナンス／環境問題と合意形成
天島 華織 (准教授)	環境経済学	気候変動適応策／自然災害の社会経済的影響／環境問題・環境政 策に関する実証研究／環境政策における経済的手段の効果
西川 弘展 (准教授)	経済学説史	J. M. ケインズ／マクロ経済政策史／マクロ経済理論史／貨幣・銀 行・信用理論史／貨幣・銀行・信用制度論史
古川 朋雄 (准教授)	会社法 証券法	企業活動における権限分配と責任分担／コーポレート・ガバナン ス／企業買収における取締役の責任／証券市場における公正性の 確保
吉川 丈 (准教授)	産業組織論	公営企業と民間企業が競争する市場（混合寡占市場）／民営化／ 広告戦略／参入規制／CSR

**【言語文化学分野】**

人間活動の基盤であり表象である言語および言語文化の伝統的なあり様と、現在に至るまでの相互接触や変容について、人文科学的な手法を駆使して深く洞察し、その成立事情や背景にある社会や時代性との関連から捉える教育研究を行います。博士前期課程では、言語・言語文化に対する幅広く柔軟な観察能力と考察能力、多様な言語や、複雑化する地域社会の文化的諸相を高度な専門的知識と観点から洞察し、それらの中で実践されるコミュニケーションの特徴を理解し、実践する能力を育成します。

▶▶ 博士前期課程 担当教員（2022年4月現在）

氏名	研究領域	研究内容
青木 賜鶴子** (教授)	中古日本文学	平安時代の物語・和歌およびその享受史・注釈史の研究
奥村 和子 (准教授)	日本語学	アクセント史を中心とした日本語の音韻史
相田 洋明 (教授)	アメリカ文学	W. フォークナーを中心とするアメリカ南部文学／アメリカ現代 文学
高木 佐知子 (教授)	談話研究 社会言語学	意味の伝達と解釈のメカニズムの考察 ことばに潜むメッセージやイデオロギーの明確化
田中 美津子 (准教授)	外国語教育 応用言語学	外国語学習者の心理要因（動機づけ）／外国語パフォーマンス の教室内評価

氏名	研究領域	研究内容
徳永 アン (教授)	英語教育	応用言語学／英語教育学／選択体系機能言語学
中村 直子 (准教授)	言語学 ドイツ語学	ドイツ語複合動詞の造語、正書法に関する問題／正書法改革／言語現象と社会との関わりから生じる問題
西尾 純二 (教授)	日本語学 社会言語学	待遇表現の言語行動論的研究／日本語の社会的機能に関する研究／日本語方言の動態、記述研究
西田 正宏 (教授)	近世日本文学	歌学を中心とする学芸史の研究
宮畑 一範 (准教授)	認知意味論	日本語、英語語彙の多義構造の研究 ことばの意味と理解に反映される人間の認知メカニズム
森田 耕平 (准教授)	日本語学	現代日本語の動詞の中止形の意味・機能に関する記述的研究
山崎 正純 (教授)	近代日本文学	太宰治・<在日>文学等の作品研究 明治以降の文学と国家・ネイション・資本との関連性の考察
ヤン ジンソク 楊 眞淑 (准教授)	社会言語学	英語使用と社会構造との関連／言語政策

\*\*2024年3月退職予定

### 【人間科学分野】

人間・社会・文化に関する諸課題に対して、深い科学的認識とその幅広い総合化によって、人間科学、社会科学の多様な専門領域を横断した学際的な教育研究を行います。博士前期課程においては、社会学、人文地理学、文化人類学、文化史、思想史、教育学、倫理学、哲学、人権・マイノリティ研究、ジェンダー研究、セクシュアリティ研究といった多様な領域の相互補完、相互触発を促すことによって、専門的知識を横断的、複合的に身につけ、重層的で柔軟な思考力と実践能力をもって主体的に現代の諸課題に取り組む高度専門職業人を育成します。

▶▶ 博士前期課程 担当教員 (2022年4月現在)

<社会学・人文地理学・文化人類学>

氏名	研究領域	研究内容
秋庭 裕** (教授)	宗教社会学 比較社会学	欧米における日本型新宗教研究
上村 隆広 (教授)	社会システム論・ 社会理論・社会学史	社会学・社会理論(学説・学史研究、特に英・独語圏における社会システム論)／モビリティとツーリズム社会研究
工藤 宏司 (准教授)	社会問題論・逸脱論 教育社会学	「不登校」「ひきこもり」現象の社会構築主義的研究
福田 珠己 (教授)	文化地理学	場所・自然に関する文化地理学的研究／「ホーム」概念についてのフェミニスト地理学的研究／ヘリテージ・スタディーズ／地理思想研究
藤田 渡 (准教授)	環境社会学	東南アジアでの自然資源の持続的利用をめぐる政治・社会過程／産業用作物の栽培拡大が地域の社会生態に与える影響／科学的知識の権力性と地域社会の抵抗戦略
水野 真彦 (教授)	経済地理学	知識・企業間ネットワーク・産業集積に関する経済地理学的研究
宮脇 幸生** (教授)	環境人類学 比較社会学	グローバリゼーション下における周辺国家の政治経済的変化と、少数民族の環境利用・文化・民族アイデンティティの変容／エチオピア西南部の牧畜民社会研究

\*\*2024年3月退職予定

<文化史・思想史>

氏名	研究領域	研究内容
池平 紀子 (准教授)	中国思想史	六朝時代から隋・唐代にかけての三教（儒教・仏教・道教）交渉史／特に中国撰述仏教經典（疑經・偽經）と道教經典との関係
櫻井 俊郎 (教授)	中国史	明清時代の政治制度（文書行政）／明末の北辺防衛
佐々木 博光 (准教授)	西洋史	ヨーロッパ・ユダヤ人の歴史／民族問題／迫害と共存／歴史教育／フィランソロピー学／西洋医学・医療史
山東 功 (教授)	日本語学 日本思想史	近世漢学・国学・蘭学言語思想史／近代における「国語」の成立／日系移民社会の言語
住友 陽文 (教授)	日本近現代史	「大正デモクラシー」の研究／立憲主義思想と国体論の関係論／原子力開発と55年体制の研究
前川 真行 (教授)	政治哲学 思想史	フランス、およびアメリカを中心とした、西洋、そして日本近代の政治思想史・社会思想史

<人権・マイノリティ研究（思想、教育、歴史、現代社会）>

氏名	研究領域	研究内容
酒井 隆史 (教授)	社会思想史 都市社会学	都市論（都市社会論、都市文化論、都市史）／社会思想史（権力、暴力、戦争など）
西田 芳正 (教授)	教育社会学 社会的排除論	貧困層・マイノリティの子ども・若者の家族・学校・地域での生活と教育・地位達成／社会的排除の学校・地域での顕在化の様態
廣岡 浄進 (准教授)	文化交流史 日本近現代史	部落問題論／日本学／帝国史研究（植民地統治下の朝鮮近現代史、在満朝鮮人問題）／マイノリティ研究／差別論

<ジェンダー研究・セクシュアリティ研究>

氏名	研究領域	研究内容
乾 順子 (准教授)	ジェンダー研究 家族社会学	性別分業の実態と変容／社会意識／ケア労働（家事、介護）／女性労働／家族の変容／計量分析
内藤 葉子 (准教授)	ジェンダー研究 政治思想・社会思想	ジェンダーと政治学・政治理論・政治思想／ケアの倫理／ドイツ思想史・ジェンダー史／身体性と主体性／共生と社会
東 優子 (教授)	ジェンダー研究 性科学	性の健康と権利をめぐる諸問題、身体の自律とインテグリティ
古久保 さくら (准教授)	ジェンダー研究 女性学	近現代女性史／ジェンダー平等教育／社会的不利益を受けがちな女性の問題

<教育学、倫理学、哲学>

氏名	研究領域	研究内容
伊井 直比呂** (教授)	教育人権論 国際教育・社会科教育	「人権としての教育」という観点から教育政策・教育制度を考える／「持続可能な社会」など UNESCO 国際教育（国際理解教育）の教育現場への適用
上柿 崇英 (准教授)	環境哲学 現代人間学	環境論／持続可能性論／人間存在論／信頼の哲学

森岡 次郎 (准教授)	教育哲学 教育思想史	教育における「他者」概念に関する研究／教育・福祉の言説と実践に関する研究
山本 由美子 (准教授)	生命倫理・医療社会学 科学技術社会論	生と生存の思想と技法／性と生殖をめぐる倫理・技術・社会／医学研究と戦争／科学研究とジェンダー／研究倫理
吉田 敦彦 (教授)	教育人間学 人間形成論	ブーバー人間学とホリスティック教育／オルタナティブ教育（シュタイナー教育ほか）

\*\*2024年3月退職予定

### 【社会福祉学分野】

少子高齢化や社会的格差の拡大などから生じる問題を科学的に分析し、解決の知見を生成するには、根拠に基づいた実践や援助が必要です。これは、現代社会の課題を深く問い直し、社会福祉の価値を再確認することを通して可能となります。博士前期課程では、社会福祉学理論、社会福祉に関連する政策、調査手法、ソーシャルワークについて学び、学術的かつ実践的な理解を深めた上で、政策的な立場あるいは臨床的な立場から社会福祉問題の解決を進めることができる能力を涵養します。

#### ▶▶ 博士前期課程 担当教員（2022年4月現在）

氏名	研究領域	研究内容
伊藤 嘉余子 (教授)	子ども家庭福祉論 社会的養護	社会的養護に関する国際比較／児童養護におけるソーシャルワーク・ケアワーク・レジデンシャルワーク／里親支援（フォスタリング）／社会的養護経験者の自立支援
木曾 陽子 (准教授)	保育学・発達支援	障害のある子どもやその家族に対する支援や保育に関する研究／保育者に対する研修や保育者の早期離職防止に関する研究／地域の子育て支援に関する研究
児島 亜紀子 (教授)	社会福祉原論 福祉哲学	ソーシャルワークの価値と倫理に関する研究／ソーシャルワークにおける哲学的課題の研究／社会福祉領域におけるジェンダー課題に関する研究
嵯峨 嘉子 (准教授)	公的扶助論	反貧困政策および公的扶助制度（生活保護制度、福祉事務所など支援体制）に関する研究／公的扶助制度に関する日独比較
ジョン ホンギョ 全 泓奎 (教授)	社会的包摂論 社会的開発論	東アジアの貧困や排除、社会政策の生産主義モデル、社会的開発・社会的投資に関するアクションリサーチ
隅田 好美 (教授)	医療福祉 歯科社会学	保健医療福祉領域におけるソーシャルワーク／介護予防（フレイル）に関する研究／難病患者への支援／癌患者への支援
関川 芳孝* (教授)	社会福祉法制論	社会福祉の法制度に関する研究（社会福祉法人制度、権利擁護、介護保険、障害者支援・差別解消、保育など）／施設運営に関する研究（労務管理・人材育成、第三者評価、苦情解決、リスクマネジメント、地域貢献など）
田垣 正晋 (教授)	障害者福祉論 障害者心理 質的研究論	障害者本人および家族の心理社会的問題に関する実証研究／障害者計画の運営管理等、自治体の障害者施策に関する研究／質的研究のあり方／障害者差別解消法への心理社会的アプローチ
東根 ちよ (講師)	地域福祉論	小地域を基盤とする福祉活動に関する研究／ボランティア領域をめぐる自治体政策に関する研究
松田 博幸 (准教授)	社会福祉方法論	セルフヘルプ・グループの実態およびそれらに対する支援方法に関する研究／オートエスノグラフィーに関する研究
三田 優子 (准教授)	精神保健福祉 障害者福祉	精神障害者・知的障害者への当事者主体の援助に関する研究

山野 則子 (教授)	子ども家庭福祉 社会福祉方法論	児童虐待防止・スクールソーシャルワーク・子育て支援に関する研究
吉武 信二 (教授)	健康福祉・教育 スポーツ科学	効果的な健康維持増進/ダイエット、トレーニングの方法および支援に関する研究
吉田 直哉 (准教授)	保育学 教育人間学	戦後日本の保育理論史・実践史/保育カリキュラムの構想と保育の「質」の保証/保育者のライフヒストリー/保育士養成カリキュラムの改善
吉原 雅昭 (准教授)	社会政策・社会福祉 計画・認知症ケア	認知症ケア（政策、実践）の日本、スウェーデン比較/パーソンセンタードケア/基礎自治体を基盤とする福祉システムの国内および国際比較

\*2023年3月退職予定

### 【臨床心理学分野】

臨床心理学分野では、現代における心の問題を理解するための背景となる視点を涵養しつつ、臨床心理士受験資格（第一種）および公認心理師受験資格を取得するための専門的理論・知識・技能を身につけ、高度な専門的業務に従事することのできる人材を育成します。

臨床心理学分野は臨床心理士受験資格、公認心理師受験資格の両カリキュラムに対応しています。

▶▶ 博士前期課程 担当教員（2022年4月現在）

氏名	研究領域	研究内容
片畑 真由美 (准教授)	臨床心理学	イメージ体験および表現に関する心理臨床学的研究/プレイセラピーにおける主体の生成プロセス/箱庭・物語・描画における身体感覚の役割
川原 稔久** (教授)	臨床心理学	心理療法に現れる夢、描画、箱庭などのイメージの研究/心理療法に現れる身体症状や身体感覚の治療的意義/イメージや身体が支える心理療法の主体に関する研究
川部 哲也 (准教授)	臨床心理学	主観的体験（既視体験など）に関する心理臨床学的研究/特殊環境（南極など）における心理的体験/自伝的記憶と発達障がいに関する研究
総田 純次 (教授)	精神病理学 臨床心理学	統合失調症、うつ病、境界例など「こころの病」の精神病理学的研究/心理療法（精神分析的な精神療法）における投影性同一化の過程の研究
高橋 幸治 (准教授)	臨床心理学	イメージの創造性や身体性に着目した心理療法の研究/イメージを利用したグループアプローチ/教育現場での心理療法的関わり

\*\*2024年3月退職予定

### 【認知行動科学分野】

認知行動科学分野では、基礎的な実験系心理学を中心に発達心理学、社会心理学、認知情報学といったヒトの認知と行動に関わる関連領域の研究・教育を行い、人間の内面的な状態に起因する問題から構成される現代社会が抱える複合的な問題に対し、「ヒトとヒトとのつながり」および「ヒトの心と環境とのつながり」の観点から課題解決に取り組むことができる人材を育成します。

▶▶▶ 博士前期課程 担当教員 (2022年4月現在)

氏名	研究領域	研究内容
井手 直* (教授)	社会心理学 組織心理学	組織行動／人事評価／仕事の動機づけ／社会的認知
岩佐 和典 (准教授)	感情心理学 臨床心理学	感情の機能／感性的質感の心理物理／心理査定／精神疾患の病態解明／慢性疾患の心理臨床
岡本 真彦 (教授)	学習科学 発達心理学	数の認知・発達過程／メタ認知／算数文章題の認知・メタ認知過程／学習支援システムの開発／ジェスチャーの発達
河野 直子 (准教授)	老年心理学 臨床心理学	心理査定／加齢・精神疾患に伴う認知機能変化／高齢ドライバ特性／軽度認知障害・認知症の心理臨床
河村 悠太 (准教授)	社会心理学 進化心理学	評判／利他性／向社会的行動／社会的認知／共感
飛田 国人 (准教授)	環境心理学 建築環境工学	都市・建築環境の心理生理評価／温熱的快適性／熱中症やヒートショックの予防
野津 亮 (教授)	認知情報学 ソフトコンピューティング	認知モデル／学習アルゴリズム／エージェントシミュレーション／最適化アルゴリズム
畑野 快 (准教授)	パーソナリティ心理学 青年心理学	アイデンティティ／パーソナリティ／動機づけ／心理的健康
牧岡 省吾 (教授)	認知心理学 認知科学	共感覚／視覚的単語認知／非意識過程／記憶／言語獲得／ニューラルネットワーク

\*2023年3月退職予定



## 現代システム科学研究科 博士前期課程 教員メールアドレス一覧

※[at] は@で置き換えてください。

### 【環境共生科学分野】

<自然科学系環境学>

氏 名	メールアドレス
阿久井 康平 (助教)	akui[at]omu.ac.jp
生田 英輔 (教授)	ikuta[at]omu.ac.jp
伊藤 康人 (教授)	yasuto.itoh[at]omu.ac.jp
大塚 耕司 (教授)	otsuka[at]omu.ac.jp
大山 克己 (教授)	ohyama[at]omu.ac.jp
興津 健二 (教授)	okitsu[at]omu.ac.jp
黒田 桂菜 (准教授)	kuroda.kana[at]omu.ac.jp
下村 泰彦 (教授)	simomura[at]omu.ac.jp
竹中 規訓 (教授)	takenaka-nor[at]omu.ac.jp
中山 祐一郎 (教授)	uja[at]omu.ac.jp
花村 周寛 (准教授)	z21723p[at]omu.ac.jp
藤井 佑介 (助教)	fujii.yusuke[at]omu.ac.jp
星 英之 (准教授)	hhoshi[at]omu.ac.jp

<社会科学系環境学>

氏 名	メールアドレス
遠藤 崇浩 (教授)	endo[at]omu.ac.jp
住田 守道 (准教授)	入試課にお問い合わせください
千葉 知世 (准教授)	t.chiba[at]omu.ac.jp
天畠 華織 (准教授)	tembata[at]omu.ac.jp
西川 弘展 (准教授)	hiro-nishikawa[at]omu.ac.jp
古川 朋雄 (准教授)	tfurukawa[at]omu.ac.jp
吉川 丈 (准教授)	t.yoshikawa[at]omu.ac.jp

### 【言語文化学分野】

氏 名	メールアドレス
青木 賜鶴子 (教授)	shiz[at]omu.ac.jp
奥村 和子 (准教授)	okuk[at]omu.ac.jp
相田 洋明 (教授)	sodahiroaki[at]omu.ac.jp
高木 佐知子 (教授)	stakagi[at]omu.ac.jp
田中 美津子 (准教授)	mtanaka[at]omu.ac.jp
徳永 アン (教授)	annetokunaga[at]omu.ac.jp
中村 直子 (准教授)	nkmr_na[at]omu.ac.jp
西尾 純二 (教授)	njunji[at]omu.ac.jp

<M 教員メールアドレス一覧>

西田 正宏 (教授)	nymar[at]omu.ac.jp
宮畑 一範 (准教授)	kazm[at]omu.ac.jp
森田 耕平 (准教授)	khmorita[at]omu.ac.jp
山崎 正純 (教授)	yms[at]omu.ac.jp
楊 <sup>ヤン</sup> 眞 <sup>ジン</sup> 淑 <sup>スツク</sup> (准教授)	yang[at]omu.ac.jp

**【人間科学分野】**

<社会学・人文地理学・文化人類学>

氏 名	メールアドレス
秋庭 裕 (教授)	akibayuh[at]omu.ac.jp
上村 隆広 (教授)	uemura.takahiro[at]omu.ac.jp
工藤 宏司 (准教授)	Koji_Kudo[at]omu.ac.jp
福田 珠己 (教授)	tamamif[at]omu.ac.jp
藤田 渡 (准教授)	watarufujita[at]omu.ac.jp
水野 真彦 (教授)	mmizuno[at]omu.ac.jp
宮脇 幸生 (教授)	yukio[at]omu.ac.jp

<文化史・思想史>

氏 名	メールアドレス
池平 紀子 (准教授)	n.ikehira[at]omu.ac.jp
櫻井 俊郎 (教授)	toshisakurai[at]omu.ac.jp
佐々木 博光 (准教授)	hirosasaki[at]omu.ac.jp
山東 功 (教授)	santo[at]omu.ac.jp
住友 陽文 (教授)	sumitomo[at]omu.ac.jp
前川 真行 (教授)	maegawa[at]omu.ac.jp

<人権・マイノリティ研究 (思想、教育、歴史、現代社会) >

氏 名	メールアドレス
酒井 隆史 (教授)	x21945t[at]omu.ac.jp
西田 芳正 (教授)	yo-nishida[at]omu.ac.jp
廣岡 浄進 (准教授)	hirooka[at]omu.ac.jp

<ジェンダー研究・セクシュアリティ研究>

氏 名	メールアドレス
乾 順子 (准教授)	inui[at]omu.ac.jp
内藤 葉子 (准教授)	ynaito[at]omu.ac.jp
東 優子 (教授)	higashi[at]omu.ac.jp
古久保 さくら (准教授)	furukubo[at]omu.ac.jp

<教育学、倫理学、哲学>

氏 名	メールアドレス
伊井 直比呂 (教授)	naoii[at]omu.ac.jp

上柿 崇英 (准教授)	t-uegaki[at]omu.ac.jp
森岡 次郎 (准教授)	j-moriok[at]omu.ac.jp
山本 由美子 (准教授)	yamamoto.yumiko[at]omu.ac.jp
吉田 敦彦 (教授)	atsu[at]omu.ac.jp

**【社会福祉学分野】**

氏 名	メールアドレス
伊藤 嘉余子 (教授)	itokayo[at]omu.ac.jp
木曾 陽子 (准教授)	kiso[at]omu.ac.jp
児島 亜紀子 (教授)	akikojima[at]omu.ac.jp
嵯峨 嘉子 (准教授)	y-saga[at]omu.ac.jp
ジョン ホンギョ 全 泓奎 (教授)	francisjeonhg[at]omu.ac.jp
隅田 好美 (教授)	sumida[at]omu.ac.jp
関川 芳孝 (教授)	sekikawa[at]omu.ac.jp
田垣 正晋 (教授)	tagaki[at]omu.ac.jp
東根 ちよ (講師)	higashine[at]omu.ac.jp
松田 博幸 (准教授)	matsuda[at]omu.ac.jp
三田 優子 (准教授)	mita[at]omu.ac.jp
山野 則子 (教授)	yamano[at]omu.ac.jp
吉武 信二 (教授)	shin[at]omu.ac.jp
吉田 直哉 (准教授)	yoshidanaoya[at]omu.ac.jp
吉原 雅昭 (准教授)	masaakiyoshihara[at]omu.ac.jp

**【臨床心理学分野】**

氏 名	メールアドレス
片畑 真由美 (准教授)	katahata[at]omu.ac.jp
川原 稔久 (教授)	kawahara[at]omu.ac.jp
川部 哲也 (准教授)	kawabet[at]omu.ac.jp
総田 純次 (教授)	souda60[at]omu.ac.jp
高橋 幸治 (准教授)	koji[at]omu.ac.jp

**【認知行動科学分野】**

氏 名	メールアドレス
井手 亘 (教授)	ide[at]omu.ac.jp
岩佐 和典 (准教授)	kaiwasa[at]omu.ac.jp
岡本 真彦 (教授)	mokamoto[at]omu.ac.jp
河野 直子 (准教授)	nkawano[at]omu.ac.jp
河村 悠太 (准教授)	ykawamura[at]omu.ac.jp
飛田 国人 (准教授)	tobita[at]omu.ac.jp

<M 教員メールアドレス一覧>

野津 亮 (教授)	notsu[at]omu.ac.jp
畑野 快 (准教授)	kai.hatano[at]omu.ac.jp
牧岡 省吾 (教授)	makioka[at]omu.ac.jp

# 博士後期課程

## 一般選抜学生募集要項

### 〔1〕 募集人員

専攻	分野	募集人員
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名
	言語文化学分野	
	人間科学分野	
	社会福祉学分野	
	心理学分野	

### 〔2〕 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 我が国において、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2022年9月30日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2022年9月30日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

### 【 注意事項 】

上記(7)(8)(9)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。

### 〔3〕出願資格審査

出願資格(7)(8)(9)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。出願資格(1)～(6)による志願者は、出願資格審査は不要です。

#### 〈1〉提出書類等

本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

1. 出願資格審査調書 (本研究科所定の様式を使用してください。)
2. 研究経過報告書 (本研究科所定の様式を使用してください。)  
論文、研究発表等の資料があれば提出してください。
3. 事前面談確認書 (本研究科所定の様式を使用してください。)

#### 【 注意事項 】

- ・ 提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ・ 本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

#### 〈2〉受付期間等

受付期間	送付先 (問合せ先)
2022年6月14日(火)～6月16日(木) <b>必着</b>  (注)簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス) Tel : 072-254-8319  (注) 封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

上記受付期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

- ・ 分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
- ・ 審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
- ・ 2022年度秋入学の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ 2023年度春入学第2次募集の出願資格審査を免除とします。

### 〔4〕出願手続

出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。 出願登録は、相談を済ませた後に行ってください。

出願手続はインターネット出願により行います。

※日本国外(海外)から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、2022年7月1日(金)までに、志望研究科及び氏名を入試課 (gr-nyu-sss@omu.ac.jp) へメールで連絡してください。

〈1〉 出願期間

項目	期間
インターネット出願登録期間	2022年7月1日(金)10時～7月14日(木)17時(※)
出願に必要な書類提出期間	2022年7月12日(火)～7月14日(木)消印有効(注) 簡易書留で郵送してください。

(※) インターネット出願登録期間内は出願登録が可能ですが、出願書類は簡易書留郵便にて、2022年7月14日(木)消印有効ですので、余裕をもって登録してください。

(注) EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とします。

上記書類提出期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈2〉 出願方法

次のstep 1～step 6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 <a href="mailto:sak-sak.net">@sak-sak.net</a> を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.30〔4〕出願手続〈4〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・以下の2種類の封筒をご用意ください。 ①市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)……出願書類等郵送用 ②市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に404円分の切手を貼付したもの……受験票等送付用

●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL <a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html</a>

●出願登録	
step 3	・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

●入学検定料等の支払い				
step 4	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(P.30〔4〕出願手続〈3〉入学検定料等の支払方法 参照)			
	・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。			
	(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング	

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4 用紙に片面で印刷してください。</li> <li>・インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。</li> </ul>

step 6	●出願書類の郵送、提出
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.30〔4〕出願手続〈4〉出願書類等参照）</li> <li>・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。</li> <li>・書類提出期間内に書類の提出がなければ、出願を受理しません。（P.29〔4〕出願手続〈1〉出願期間参照）</li> </ul>

〈3〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

※大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程もしくは専門職学位課程から引き続き進学する者は、入学検定料は不要です。出願方法を別途ご案内しますので、2022 年 7 月 1 日（金）までに、志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

支払方法は、次の 4 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

〈4〉出願書類等

志願者は出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて書類提出期間内に提出してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

**出願書類は、必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。**

※P.28〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3 ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。 ・履歴書を含みます。
4	受験票	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3 ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。



6	研究計画書	環境共生科学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。</li> </ul>
		言語文化化学分野 人間科学分野 社会福祉学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を全体として3,000字程度で記述してください。</li> </ul>
7	志望する分野に関連する 修士論文 (提出予定のものを含む) 又は これに相当する 学術論文や 研究発表等の資料	環境共生科学分野 社会福祉学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約(A4判用紙)に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文や研究発表等の資料を提出することができます。この場合も要約(A4判用紙)を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		言語文化化学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約(A4判用紙)に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する既刊行の学術論文を提出することができます。この場合も要約(A4判用紙)を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		人間科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約(A4判用紙)に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文を提出することができます。この場合も要約(A4判用紙)を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
8	大学院修士課程又は 博士前期課程の修了証明書 又は同見込証明書もしくは 修士の学位授与証明書 (出願資格を証明する書類) ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> <li>・外国において、修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は学位取得(見込み)が明記されているもの。出身学校において修了証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方(原本)を提出してください。</li> <li>・出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格(合格見込)を証明する書類</li> </ul>
9	大学院修士課程又は 博士前期課程の成績証明書※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> </ul>
10	事前面談確認書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の事前面談確認書に志望する分野の教員の署名・捺印を受けたもの。</li> </ul>
11	受験票等送付用封筒 (送付先は日本国内に限る)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入し、404円分の切手を貼り付けてください。</li> <li>※氏名には必ず「様」を付けてください。</li> <li>(注) 出願書類を入試課に直接提出する場合でも、受験票等送付用封筒が必要です。</li> </ul>
12	出願資格認定書 《出願資格審査により 出願資格を認められた者のみ》		<p>「〔3〕出願資格審査」を参照してください。</p>

※「大学院修士課程又は博士前期課程の修了証明書又は同見込証明書もしくは修士の学位授与証明書」(出願資格を証明する書類)、「大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書」について

大阪府立大学又は大阪市立大学在学学生(正規生)であって、修了見込証明書及び成績証明書を入試課で代理取得することを希望する者については、出願時の上記証明書の提出を省略できるものとします。出願書類に上記証明書が同封されていなかった場合、入試課での代理取得を希望したものとして取り扱います。上記対応で支障がある場合は、各自で上記証明書を取得してください。

【 注意事項 】

- ・ 出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・ 各証明書については、複写したものではありません。  
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
- ・ **出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・ 氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- ・ 提出された出願書類は返却しません。

〈5〉 出願についての注意

- (1) P.29〔4〕 出願手続〈1〉 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて書類提出期間内に必着又は持参提出）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。**
- (2) 志願者情報の入力について  
住所は、受験票等送付時点で郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072 - 254 - 8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
- (3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

○ 還付可能な事由

- ・ 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・ 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・ 重複して入学検定料を払い込みした場合

(注) 還付方法等は、出願締切日から 1 か月以内に入試課に問い合わせてください。

〈6〉 受験票等の送付について

出願手続を完了した者には、「受験票」と「受験上の注意」を発送します。

2022年7月26日（火）頃に簡易書留郵便で発送予定です。2022年7月29日（金）を過ぎても未着の場合は、入試課まで問い合わせてください。Tel：072 - 254 - 8319

〈7〉 受験上の配慮について

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。

Tel：072 - 254 - 8319、E-mail：gr-nyu-ask3@omu.ac.jp

〔5〕 試験日程

分野	試験日程
環境共生科学分野	2022年8月31日（水）
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

**予備日**

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

なお、博士後期課程の入学試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも、予備日に試験を実施する場合があります。

分野	予備日
環境共生科学分野	2022年9月1日(木)
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。【 <https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/> 】

**〔6〕 入学者選考方法**

- (1) 入学者の選考は、筆記試験、口頭試問、研究計画書、修士論文等、その他の提出書類を総合して行います。
- (2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。
- (3) 試験科目ならびに日程については次の通りです。


専攻	分野	2022年8月31日(水)	
		10:00~11:20	口頭試問
		専門科目	
現代システム科学専攻	環境共生科学分野		開始時刻【10:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。
	言語文化学分野		開始時刻【10:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。
	人間科学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。	開始時刻【14:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。
	社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。* (社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む)	開始時刻【14:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。
	心理学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。(日本語あるいは英語による設問を含む)	開始時刻【14:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。 *研究領域によって開始時刻が異なります。開始時刻については、当日お知らせします。

**【 注意事項 】**

\*社会福祉学分野の専門科目の受験に限り、英語辞書(電子辞書を除く)の持ち込みを1冊に限り認めます。必要とする場合は、各自で持参してください。

## 〔7〕合格者発表

### 〈1〉合格者発表

発表日時	掲載場所
2022年9月6日（火）10時	<a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html</a> 

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。  
なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

### 〈2〉合格通知書及び入学手続き書類

合格者には合格通知書とともに入学手続き書類を送付（簡易書留郵便）します。

『博士後期課程 全選抜共通事項』（P.52～）も必ず確認してください。

## 博士後期課程

### 社会人特別選抜学生募集要項

#### 〔1〕 募集人員

専攻	分野	募集人員
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名
	言語文化学分野	
	人間科学分野	
	社会福祉学分野	
	心理学分野	

#### 〔2〕 出願資格

環境共生科学分野及び心理学分野については、次のア、イのいずれかに該当する者。

言語文化学分野、人間科学分野については、次のウのいずれかに該当する者。

社会福祉学分野については、次のアのいずれかに該当し、刊行された学術論文や研究発表等の資料を2編以上有する者。

ア. 次の各号のいずれかに該当し、志望する分野に関連する教育・研究機関（中等教育機関を含む）、施設、組織等において、入学時に3年以上の在職経験を有する者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、合格後3年以上を経過している者
- (7) 志望する分野に関連する研究領域において、文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）に該当し、入学時において該当後3年以上を経過している者
  - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年9月30日までに27歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

<D 社会人>

イ. 入学時において、各種の研究機関、教育機関及び民間企業に原則として1年以上正規の職員、社員として勤務し、入学後も引き続き同一機関での業務を継続する研究者、技術者、教員であって、下記のいずれかを満たし、かつ、所属する機関の長から承諾を得ている者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 志望する分野に関連する研究領域において、文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日までに25歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

ウ. 次の各号のいずれかに該当し、志望する分野に関連する教育・研究機関（中等教育機関を含む）、施設、組織等において、入学時に3年以上の在職経験を有する者。

- (1) 志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位を有する者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (2) 外国において志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、志望する分野に関連する修士の学位に相当する学位を授与された者で、入学時において学位取得後3年以上を経過している者
- (6) 外国の学校において志望する分野に関連する教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、合格後3年以上を経過している者
- (7) 志望する分野に関連する研究領域において、文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）に該当し、入学時において該当後3年以上を経過している者
  - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日までに27歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、志望する分野に関連する修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

**【 注意事項 】**

上記ア(7)(8)(9)、上記イ(7)(8)(9)、上記ウ(7)(8)(9)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。

**〔3〕出願資格審査**

出願資格ア(7)(8)(9)、イ(7)(8)(9)、ウ(7)(8)(9)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。**

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に問い合わせてください。出願資格ア(1)～(6)、イ(1)～(6)、ウ(1)～(6)による志願者は、出願資格審査は不要です。

〈1〉提出書類等

本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

1. 出願資格審査調書 (本研究科所定の様式を使用してください。)
2. 研究経過報告書 (本研究科所定の様式を使用してください。)  
論文、研究発表等の資料があれば提出してください。
3. 事前面談確認書 (本研究科所定の様式を使用してください。)

**【 注意事項 】**

- ・ **提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・ 本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

〈2〉受付期間等

受付期間	送付先 (問合せ先)
<p>2022年6月14日(火)～6月16日(木) <b>必着</b></p> <p>(注)簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。</p>	<p>〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス) Tel : 072 - 254 - 8319</p> <p>(注) 封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。</p>

上記受付期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。**

- ・ 分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
- ・ 審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
- ・ 2022年度秋入学の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ 2023年度春入学第2次募集の出願資格審査を免除とします。

## 〔4〕出願手続

**出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。**出願登録は、相談を済ませた後に行ってください。

出願手続はインターネット出願により行います。

※日本国外（海外）から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、2022年7月1日（金）までに、志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

### 〈1〉出願期間

項目	期間
インターネット出願登録期間	2022年7月1日（金）10時～7月14日（木）17時（※）
出願に必要な書類提出期間	2022年7月12日（火）～7月14日（木）消印有効（注） 簡易書留で郵送してください。

（※）インターネット出願登録期間内は出願登録が可能ですが、出願書類は簡易書留郵便にて、2022年7月14日（木）消印有効ですので、余裕をもって登録してください。

（注）EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とします。

上記書類提出期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。**

### 〈2〉出願方法

次のstep 1～step 6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 <a href="mailto:@sak-sak.net">@sak-sak.net</a> を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.39〔4〕出願手続〈4〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・以下の2種類の封筒をご用意ください。 ①市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）……出願書類等郵送用 ②市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に404円分の切手を貼付したもの……受験票等送付用

●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL <a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html</a>

●出願登録	
step 3	・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。



step 4	●入学検定料等の支払い			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(P.39〔4〕出願手続〈3〉入学検定料等の支払方法 参照)</li> <li>入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。</li> </ul>			
	(1)	(2)	(3)	(4)
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM (ペイジー)	ネットバンキング

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4用紙に片面で印刷してください。</li> <li>インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。</li> </ul>			

step 6	●出願書類の郵送、提出			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願書類を簡易書留により郵送(消印有効)してください。(P.39〔4〕出願手続〈4〉出願書類等参照)</li> <li>直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。</li> <li>書類提出期間内に書類の提出がなければ、出願を受理しません。(P.38〔4〕出願手続〈1〉出願期間 参照)</li> </ul>			

〈3〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000円
- ・支払手数料 990円

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注)支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注)支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	金融機関でPay-easyマークの付いているATMで支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

〈4〉出願書類等

志願者は出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を**全てそろえて書類提出期間内に提出**してください。

本学所定の様式は、本学Webサイトからダウンロードしてください。

**出願書類は、必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に封入してください。**

※P.37〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票 (大学提出用)	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けてください。
3	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究所定の様式を使用してください。</li> <li>・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。</li> <li>・履歴書を含みます。</li> </ul>

4	受験票		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> </ul>
5	写真票		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・必要事項を記入し、3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。</li> </ul>
6	研究計画書	環境共生科学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。</li> </ul>
		言語文化化学分野 人間科学分野 社会福祉学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を全体として3,000字程度で記述してください。</li> </ul>
7	志望する分野に関連する修士論文（提出予定のものを含む） 又は これに相当する学術論文や研究発表等の資料	環境共生科学分野 社会福祉学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約（A4判用紙）に題目及び氏名を明記し、各6部（コピー可）提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文や研究発表等の資料を提出することができます。この場合も要約（A4判用紙）を添付して各6部（コピー可）提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		言語文化化学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約（A4判用紙）に題目及び氏名を明記し、各6部（コピー可）提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する既刊行の学術論文を提出することができます。この場合も要約（A4判用紙）を添付して各6部（コピー可）提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		人間科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその1,200字程度の要約（A4判用紙）に題目及び氏名を明記し、各6部（コピー可）提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文を提出することができます。この場合も要約（A4判用紙）を添付して各6部（コピー可）提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
8	刊行された学術論文や研究発表等の資料2編 《社会福祉学分野のみ》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2編のそれぞれにつき、抜き刷り又はコピーとその800字以内の要約（A4判用紙）を各6部（コピー可）提出してください。</li> <li>・2編のいずれも、7と重複しないようにしてください。</li> </ul> <p>※なお、提出された学術論文等は返却しません。</p>
9	大学院修士課程又は博士前期課程の修了証明書 又は修士の学位授与証明書 (出願資格を証明する書類)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> <li>・外国において、修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は学位取得（見込み）が明記されているもの。出身学校において修了証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方（原本）を提出してください。</li> <li>・出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格を証明する書類</li> </ul>
10	大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> </ul>
11	事前面談確認書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の事前面談確認書に志望する分野の教員の署名・捺印を受けたもの。</li> </ul>

12	受験票等送付用封筒 (送付先は日本国内に限る)	・市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入し、404円分の切手を貼り付けてください。 ※氏名には必ず「様」を付けてください。 (注) 出願書類を入試課に直接提出する場合でも、受験票等送付用封筒が必要です。
13	出願資格認定書 《出願資格審査により 出願資格を認められた者のみ》	「〔3〕出願資格審査」を参照してください。

【 注意事項 】

- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・各証明書については、複写したものではありません。  
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留(又は簡易書留速達)相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
- ・**出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類(戸籍抄本等)を提出してください。
- ・提出された出願書類は返却しません。

〈5〉出願についての注意

- (1) P.38〔4〕出願手続〈1〉出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送(簡易書留郵便にて書類提出期間内に必着又は持参提出)の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。**
- (2) 志願者情報の入力について  
住所は、受験票等送付時点で郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課(Tel: 072-254-8319)まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
- (3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

○還付可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込みした場合

(注) 還付方法等は、出願締切日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

〈6〉受験票等の送付について

出願手続を完了した者には、「受験票」と「受験上の注意」を発送します。

2022年7月26日(火)頃に簡易書留郵便で発送予定です。2022年7月29日(金)を過ぎても未着の場合は、入試課まで問い合わせてください。

Tel: 072-254-8319

〈7〉受験上の配慮について

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。

Tel: 072-254-8319、E-mail: gr-nyu-ask3@omu.ac.jp

## 〔5〕試験日程

分野	試験日程
環境共生科学分野	2022年8月31日（水）
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

### 予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

なお、博士後期課程の入学試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも、予備日に試験を実施する場合があります。

分野	予備日
環境共生科学分野	2022年9月1日（木）
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。【 <https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/> 】


## 〔6〕入学者選考方法

- (1) 入学者の選考は、筆記試験、口頭試問、研究計画書、修士論文等、その他の提出書類を総合して行います。
- (2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。
- (3) 試験科目ならびに日程については次の通りです。

専攻	分野	2022年8月31日(水)	
		10:00～11:20	口頭試問
		専門科目	
現代システム科学専攻	環境共生科学分野		
	言語文化学分野		
	人間科学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。	開始時刻【14:00～】 修士論文等および研究計画書について問う。
	社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。	開始時刻【14:00～】 修士論文等および研究計画書について問う。
	心理学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。(日本語あるいは英語による設問を含む)	開始時刻【14:00～】 修士論文等および研究計画書について問う。 *研究領域によって開始時刻が異なります。開始時刻については、当日お知らせします。

## 〔7〕合格者発表

### 〈1〉合格者発表

発表日時	掲載場所
2022年9月6日(火) 10時	<a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html</a> 

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。  
なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

### 〈2〉合格通知書及び入学手続書類

合格者には合格通知書とともに入学手続書類を送付(簡易書留郵便)します。

『博士後期課程 全選抜共通事項』(P.52～)も必ず確認してください。

## 博士後期課程

### 外国人留学生特別選抜学生募集要項

#### 〔1〕 募集人員

専攻	分野	募集人員
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	若干名
	言語文化学分野	
	人間科学分野	
	社会福祉学分野	
	心理学分野	

#### 〔2〕 出願資格

日本国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学時まで「留学」の在留資格を取得できる見込みの者、かつ次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において我が国の修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (2) 外国の学校において我が国の学士の学位に相当する学位を授与された者で、我が国の大学院修士課程を修了した者及び2022年9月30日までに修了する見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2022年9月30日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

#### 【 注意事項 】

- ・上記(7)(8)による志願者は、出願資格審査が必要です。〔3〕出願資格審査を参照してください。
- ・「留学」の在留資格を有しない者又は取得しない者が出願を希望する場合は、2022年7月1日（金）までに志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

### 〔3〕 出願資格審査

出願資格(7)(8)による志願者は、出願前に次の書類を提出してください。**書類を提出する前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。**

なお、提出書類に不備がある場合は審査を行えないことがあります。不明な点がある場合には事前に入試課に問い合わせてください。

出願資格(1)～(6)による志願者は、出願資格審査は不要です。

#### 〈1〉 提出書類等

本研究科所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

1. 出願資格審査調書 (本研究科所定の様式を使用してください。)
2. 研究経過報告書 (本研究科所定の様式を使用してください。)  
論文、研究発表等の資料があれば提出してください。
3. 事前面談確認書 (本研究科所定の様式を使用してください。)

#### 【 注意事項 】

- ・ **提出書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・ 本研究科から追加書類等の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

#### 〈2〉 受付期間等

受付期間	送付先 (問合せ先)
<p>2022年6月14日(火)～6月16日(木) <b><u>必着</u></b></p> <p>(注)簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。</p>	<p>〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス) Tel : 072 - 254 - 8319</p> <p>(注) 封筒の表に「現代システム科学研究科 出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。</p>

上記受付期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。**直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。**

- ・ 分野によっては必要に応じて簡略な試験等を行うことがあります。
- ・ 審査結果は、出願期間前に志願者に通知され、出願資格認定者には「出願資格認定書」が送付されます。
- ・ 2022年度秋入学の出願資格審査で出願資格が認められた者については、同じ分野に出願する場合のみ 2023年度春入学第2次募集の出願資格審査を免除とします。

### 〔4〕 出願手続

**出願手続前に必ず指導を希望する教員と相談すること (P.60 参照)。** 出願登録は、相談を済ませた後に行ってください。

出願手続はインターネット出願により行います。

※日本国外(海外)から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、2022年7月1日(金)までに、志望研究科及び氏名を入試課 (gr-nyu-sss@omu.ac.jp) へメールで連絡してください。

〈1〉 出願期間

項目	期間
インターネット出願登録期間	2022年7月1日(金) 10時～7月14日(木) 17時(※)
出願に必要な書類提出期間	2022年7月12日(火)～7月14日(木) 消印有効(注) 簡易書留で郵送してください。

(※) インターネット出願登録期間内は出願登録が可能ですが、出願書類は簡易書留郵便にて、2022年7月14日(木) 消印有効ですので、余裕をもって登録してください。

(注) EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とします。

上記書類提出期間内の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパスのA3棟3階入試課に直接提出することができます。直接提出する場合でも、封筒を使用し、封をして提出してください。

〈2〉 出願方法

次のstep 1～step 6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。 <a href="mailto:sak-sak.net">@sak-sak.net</a> を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・P.47〔4〕出願手続〈4〉出願書類等を参照の上、書類提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
	封筒	・以下の2種類の封筒をご用意ください。 ①市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)……出願書類等郵送用 ②市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に404円分の切手を貼付したもの……受験票等送付用

●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL <a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html</a>

●出願登録	
step 3	・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

●入学検定料等の支払い			
step 4	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(P.47〔4〕出願手続〈3〉入学検定料等の支払方法 参照)		
	・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。		
	(1)	(2)	(3)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング



<b>step 5</b>	<b>●出願確認票及び宛名ラベルの印刷</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4 用紙に片面で印刷してください。</li> <li>・<b>インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。</b></li> </ul>

<b>step 6</b>	<b>●出願書類の郵送、提出</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願書類を簡易書留により郵送（消印有効）してください。（P.47〔4〕出願手続〈4〉出願書類等参照）</li> <li>・直接提出する場合は、書類提出期間、時間にご注意ください。</li> <li>・書類提出期間内に<u>出願書類の提出がなければ、出願を受理しません。</u>（P.46〔4〕出願手続〈1〉出願期間 参照）</li> </ul>

〈3〉入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

※大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程もしくは専門職学位課程から引き続き進学する者は、入学検定料は不要です。出願方法を別途ご案内しますので、2022 年 7 月 1 日（金）までに、志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-sss@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

支払方法は、次の 4 種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 ※ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

〈4〉出願書類等

志願者は出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を**全てそろえて書類提出期間内に提出**してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

**出願書類は、必ず下記『宛名ラベル』を貼り付けた市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。**

※P.45〔3〕出願資格審査を受けた者は、出願資格審査申請時と重複している書類を省略することができます。

	出願書類等	作成方法等
1	出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷してください。
2	宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。
3	入学願書	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。 ・履歴書を含みます。
4	受験票	・本研究科所定の様式を使用してください。
5	写真票	・本研究科所定の様式を使用してください。 ・必要事項を記入し、3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。

6	研究計画書	環境共生科学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を記述してください。</li> </ul>
		言語文化学分野 人間科学分野 社会福祉学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式を使用してください。</li> <li>・志望する分野に関する研究経過、入学後の研究課題、その研究方法を全体として日本語で3,000字程度で記述してください。</li> </ul>
7	志望する分野に関連する 修士論文 (提出予定のものを含む) 又は これに相当する 学術論文や 研究発表等の資料	環境共生科学分野 社会福祉学分野 心理学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその日本語による1,200字程度の要約に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文や研究発表等の資料を提出することができます。この場合も要約を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		言語文化学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその日本語による1,200字程度の要約に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する既刊行の学術論文を提出することができます。この場合も要約を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
		人間科学分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文とその日本語による1,200字程度の要約に題目及び氏名を明記し、各6部(コピー可)提出してください。</li> <li>・修士論文に代えて、それに相当する学術論文を提出することができます。この場合も要約を添付して各6部(コピー可)提出してください。また、これらの論文、資料以外の論文や研究発表等の資料があれば添付しても構いません。</li> </ul> <p>※なお、提出された修士論文等は返却しません。</p>
8	大学院修士課程又は 博士前期課程の修了証明書 又は同見込証明書もしくは 修士の学位授与証明書 (出願資格を証明する書類) ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> <li>・外国において、修士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は学位取得(見込み)が明記されているもの。出身学校において修了証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、その両方(原本)を提出してください。</li> <li>・出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格(合格見込)を証明する書類</li> </ul>	
9	大学院修士課程又は 博士前期課程の成績証明書※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長・研究科長・学部長等が発行したもの。</li> </ul>	
10	在留カード(両面)のコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在留カードの両面をコピーしたもの。</li> <li>・海外在住者においては、パスポートのコピー(顔写真のあるページ)を提出してください。</li> </ul>	
11	事前面談確認書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の事前面談確認書に志望する分野の教員の署名・捺印を受けたもの。</li> </ul>	
12	受験票等送付用封筒 (送付先は日本国内に限る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入し、404円分の切手を貼り付けてください。</li> <li>※氏名には必ず「様」を付けてください。</li> <li>(注) 出願書類を入試課に直接提出する場合でも、受験票等送付用封筒が必要です。</li> </ul>	
13	出願資格認定書 《出願資格審査により 出願資格を認められた者のみ》	<ul style="list-style-type: none"> <li>「〔3〕出願資格審査」を参照してください。</li> </ul>	

※「大学院修士課程又は博士前期課程の修了証明書又は同見込証明書もしくは修士の学位授与証明書」(出願資格を証明する書類)、「大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書」について

大阪府立大学又は大阪市立大学在学学生（正規生）であって、修了見込証明書及び成績証明書を入試課で代理取得することを希望する者については、出願時の上記証明書の提出を省略できるものとします。出願書類に上記証明書が同封されていなかった場合、入試課での代理取得を希望したものと取り扱います。上記対応で支障がある場合は、各自で上記証明書を取得してください。

### 【 注意事項 】

- ・ 出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・ 各証明書については、複写したものではありません。  
出願書類のうち、出願資格を証明する書類で原本を提出できない場合には、必ず原本を提示してください。原本については確認後に返却します。なお、郵送による提出の場合は、返送を希望する原本名を明記し、住所・氏名を記入の上、簡易書留（又は簡易書留速達）相当分の切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
- ・ **出願書類が日本語又は英語以外の場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付してください。**
- ・ 氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- ・ 提出された出願書類は返却しません。

#### 〈5〉 出願についての注意

- (1) P.46〔4〕 出願手続〈1〉 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて書類提出期間内に必着又は持参提出）の全ての手続を行う必要があります。**出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。**
- (2) 志願者情報の入力について  
住所は、受験票等送付時点で郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、入試課（Tel：072 - 254 - 8319）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
- (3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

#### ○ 還付可能な事由

- ・ 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・ 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・ 重複して入学検定料を払い込みした場合

(注) 還付方法等は、出願締切日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

#### 〈6〉 受験票等の送付について

出願手続を完了した者には、「受験票」と「受験上の注意」を発送します。

2022年7月26日（火）頃に簡易書留郵便で発送予定です。2022年7月29日（金）を過ぎても未着の場合は、入試課まで問い合わせてください。Tel：072 - 254 - 8319

#### 〈7〉 受験上の配慮について

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く入試課まで申し出てください。

Tel：072 - 254 - 8319、E-mail：gr-nyu-ask3@omu.ac.jp

## 〔5〕試験日程

分野	試験日程
環境共生科学分野	2022年8月31日（水）
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

### 予備日

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

なお、博士後期課程の入学試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも、予備日に試験を実施する場合があります。

分野	予備日
環境共生科学分野	2022年9月1日（木）
言語文化学分野	
人間科学分野	
社会福祉学分野	
心理学分野	

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。【 <https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/> 】

## 〔6〕入学者選考方法

- (1) 入学者の選考は、筆記試験、口頭試問、研究計画書、修士論文等、その他の提出書類を総合して行います。
- (2) 試験場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパスとします。集合時間、場所等の詳細は受験票発行の際に通知します。
- (3) 口頭試問については、遠隔中継による試験（国外試験）を実施することがあります。
- (4) 試験科目ならびに日程については次の通りです。

専攻	分野	2022年8月31日(水)	
		10:00~11:20	口頭試問
		専門科目	
現代システム科学専攻	環境共生科学分野	開始時刻【10:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。(日本語あるいは英語で行う)	
	言語文化学分野		
	人間科学分野	開始時刻【14:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。(日本語で行う)	
	社会福祉学分野	社会福祉学に関する筆記試験。 <sup>*</sup> (日本語で解答をもとめる。社会福祉学に関する英語の文章を読解し、それに関する設問に解答する問題を含む)	
	心理学分野	志望する研究領域に関する筆記試験。(日本語で解答をもとめる。日本語あるいは英語による設問を含む) 開始時刻【14:00~】 修士論文等および研究計画書について問う。(日本語で行う) <sup>*</sup> 研究領域によって開始時刻が異なります。開始時刻については、当日お知らせします。	


・環境共生科学分野の口頭試問の開始時刻は、変更になる場合があります。変更する場合のみ、本人あてに連絡します。

【注意事項】

<sup>\*</sup>社会福祉学分野の専門科目の受験に限り、英語辞書(電子辞書を除く)の持ち込みを1冊に限り認めます。必要とする場合は、各自で持参してください。

〔7〕合格者発表

〈1〉合格者発表

発表日時	掲載場所
2022年9月6日(火) 10時	<a href="https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html">https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html</a> 

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

〈2〉合格通知書及び入学手続書類

合格者には合格通知書とともに入学手続書類を送付(簡易書留郵便)します。

『博士後期課程 全選抜共通事項』(P.52~)も必ず確認してください。

## 博士後期課程 全選抜共通事項

(入学手続・学費・長期履修制度・その他・問合せ先)

### 〔1〕入学手続

#### 〈1〉入学の時期

2022年9月24日

※ただし、2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者の入学日は、2022年10月1日（土）になります。

#### 〈2〉入学手続

2022年9月6日（火）～9月16日（金）必着

郵送で期間内必着です。ただし、9月16日を過ぎて書類が到着した場合、9月14日消印有効（日本国内の発信局の消印で、簡易書留速達郵便に限る。EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とする。）として受理します。

上記受付期間内の月曜日～金曜日（土日除く）の10時～17時の時間に限り、中百舌鳥キャンパス A3棟 3階入試課に直接提出することができます。

入学手続の詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

### 〔2〕学費（入学金・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

#### 〈1〉入学金 「大阪府民及びその子」 282,000円 「その他の者」 382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2022年秋入学者の場合には2021年9月24日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

※2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者は、2021年10月1日以前から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

- ・大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程もしくは専門職学位課程から博士後期課程、獣医学研究科、医学研究科博士課程に引き続き進学する者は、入学金は不要です。
- ・入学金は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学金の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学金を返還しません。
- ・本学では入学金の納付時期の猶予は行いません。

#### 〈2〉授業料 [年額] 535,800円

- ・授業料は、年額の1/2を半期毎に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

### 〔3〕長期履修制度

#### (1) 趣旨

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程3年）での教育課程の履修が困難な学生を対象とし

て、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

(2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、所定の書類を所定の期日までに提出して、長期履修を出願することができます。

- a. 職業を有する者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）で、標準修業年限で修了することが困難な者
- b. 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- c. その他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な者

(3) 修業年限

長期履修の期間は、博士後期課程の場合は、4年又は5年もしくは6年とします。

また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、「長期履修期間短縮願」を提出することにより、履修期間を短縮することができます。

(4) 長期履修制度にかかる授業料（年額）

通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。

また、長期履修期間の短縮が認められた場合は本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。

なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。

(5) 長期履修願の提出期限

入学前申請者は入学願書の出願時が提出期限です。事前に指導を希望する教員と相談の上、提出してください。入学後の提出は認められますが、長期履修の期間は1年を単位とし、学年の途中から開始することはできません。入学後の申請は、指導教員と相談の上、春入学者は長期履修を希望する前年度の1月末日まで、秋入学者は長期履修を希望する当該年度の7月末日までを提出期限とします。なお、長期履修の許可は、研究科企画運営会議の議を経て学長が許可します。

(6) 長期履修の許可

長期履修の許可については、決定後連絡します。

(7) 長期履修についての提出書類の請求及び問合せ先

大阪公立大学 教育推進課（中百舌鳥キャンパス）

教務グループ 現代システム科学研究科教務担当（Tel：072 - 254 - 9552）

## 〔4〕 その他

### 〈1〉 個人情報保護の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

### 〈2〉 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供期間

2022年11月1日（火）10時～2022年11月30日（水）15時まで

(2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(3) 請求方法

下記 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

[https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam\\_info/score.html](https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/score.html)

- ア. 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、出願登録時にのみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱い

## <D 全選抜共通事項>

に十分注意してください。

- イ. 成績開示用パスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。
- ウ. 本人確認として生年月日の入力が必要です。

〈3〉 入学日が10月1日の者も、9月24日から開始している後期の授業を受講することができます。

〈4〉 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトに『緊急のお知らせ』を掲載しますので、確認してください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/news/>

〈5〉 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。

〈6〉 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び技術の提供の観点から厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

### 〔5〕 問合せ先

大阪公立大学

入試課（中百舌鳥キャンパス）現代システム科学研究科担当

〒599 - 8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

Tel : 072 - 254 - 8319



## 現代システム科学研究科 博士後期課程の概要

現代システム科学研究科現代システム科学専攻は、環境共生科学、言語文化学、人間科学、社会福祉学、心理学の各専門領域における教育研究を深化させるとともに、領域を横断する学問的交流を促進することにより、従来の学術領域の枠組みにとらわれない発想にもとづく教育研究を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する人材育成と研究の拠点となることを目指します。

### 【環境共生科学分野】

地域・国・国際社会レベルに広がる重層的な人と自然とのつながりを解きほぐしつつ、技術面のみならず法律や経済といった社会科学的知見を活用してその課題解決に取り組む能力を身につける教育研究を行います。博士後期課程では、人と自然とのつながりに重点を置いて喫緊の課題である環境問題に対処する能力を更に高めることを狙いとしています。特に自律的に研究を遂行する能力の涵養を重視し、問題発見から仮説の提示、複眼的な分析から結論を導き出すまでの総合的な知的能力を備えた人材を育成します。

### ▶▶▶ 博士後期課程 担当教員 (2022年4月現在)

氏名	研究領域	研究内容
生田 英輔 (教授)	都市防災学	災害時の人的被害発生メカニズムの解明／コミュニティ防災による災害対策／防災人材育成システムの開発／避難行動／防災意識／防災教育
伊藤 康人 (教授)	地質学	プレート収束境界のテクトニックプロセス研究／物理探査技術に基づく活断層評価／大量絶滅イベントに関連する古環境変動解析／新第三系の層序学的研究
遠藤 崇浩 (教授)	環境政策学	水害／水不足／地下水の過剰くみ上げ／地下水汚染といった水問題に対する制度的対応の研究
大塚 耕司 (教授)	海洋環境学	閉鎖性海域の環境修復／海産バイオマスを利用した物質循環システムの構築／海洋深層水の多目的利用／環境－経済統一指標を用いた包括的環境影響評価
大山 克己 (教授)	植物生産科学	植物工場（垂直農場）を含む植物生産システムのエネルギーおよび物質収支解析／植物生産システムにおける生産性向上／環境計測制御技術の開発／植物の環境応答
興津 健二 (教授)	環境化学	物理化学的手法を利用する水処理技術の開発／機能性ナノ材料の創製と応用に関する研究／超音波化学反応とソノプロセスの開発
黒田 桂菜 (准教授)	海洋環境学	海陸一体型物質循環型社会の構築に関する研究：未活用海産バイオマスの有効利用／エクセルギーを用いた持続可能性評価／環境意識／漁業・魚食の活性化
下村 泰彦* (教授)	環境計画学	都市域および周辺地域での景観まちづくり手法／自然・歴史・文化的環境等に基づく緑地計画／自然・人文・社会的要因等の環境指標を用いたエコロジカル・プランニングに関する研究
竹中 規訓 (教授)	環境化学 異相化学	水の相変化に伴う反応の研究／環境中の窒素化合物の動態解明／環境中の微量物質の分析と反応と新規測定法の開発／バイオ燃料の使用による環境影響調査
千葉 知世 (准教授)	環境政策学 環境ガバナンス	海洋ごみ・漂着ごみ問題をめぐる政策とガバナンス／地下水保全管理の政策とガバナンス／環境問題と合意形成
天畠 華織 (准教授)	環境経済学	気候変動適応策／自然災害の社会経済的影響／環境問題・環境政策に関する実証研究／環境政策における経済的手段の効果

氏名	研究領域	研究内容
中山 祐一郎 (教授)	雑草学 環境生物学	雑草性植物の生態と進化／高山帯における侵入植物対策／都市河川・緑地における絶滅危惧植物の保全と植生管理
花村 周寛 (准教授)	風景異化論 環境表象学 デザインサイエンス	ランドスケープ及び建築空間のデザイン／環境への主体の意識のデザイン／現代アートを用いた人間と環境との関係の異化実践／自然現象や社会現象における形態変容プロセス
星 英之 (准教授)	公衆衛生学	人と動物との共生／飼い主のいない猫の適正管理に関する研究／野生獣肉の衛生的な利用方法に関する研究／動物の忌避因子に関する研究
吉川 丈 (准教授)	産業組織論	公営企業と民間企業が競争する市場（混合寡占市場）／民営化／広告戦略／参入規制／CSR

\*2023年3月退職予定

### 【言語文化学分野】

人間活動の基盤であり表象である言語および言語文化の伝統的なあり様と、現在に至るまでの相互接触や変容について、人文科学的な手法を駆使して深く洞察し、その成立事情や背景にある社会や時代性との関連から捉える教育研究を行います。博士後期課程においては、各研究領域での専門性をさらに高度なものとし、言語および言語文化に対するより深く幅広い知識を得て、体系化することができる研究者を育成します。

▶▶ 博士後期課程 担当教員（2022年4月現在）

氏名	研究領域	研究内容
青木 賜鶴子** (教授)	中古日本文学	平安時代の物語・和歌およびその享受史・注釈史の研究
奥村 和子 (准教授)	日本語学	アクセント史を中心とした日本語の音韻史
相田 洋明*** (教授)	アメリカ文学	W. フォークナーを中心とするアメリカ南部文学／アメリカ現代文学
高木 佐知子 (教授)	談話研究 社会言語学	意味の伝達と解釈のメカニズムの考察 ことばに潜むメッセージやイデオロギーの明確化
西尾 純二 (教授)	日本語学 社会言語学	待遇表現の言語行動論的研究／日本語の社会的機能に関する研究／日本語方言の動態、記述研究
西田 正宏 (教授)	近世日本文学	歌学を中心とする学芸史の研究
山崎 正純 (教授)	近代日本文学	太宰治・＜在日＞文学等の作品研究 明治以降の文学と国家・ネイション・資本との関連性の考察
ヤン ジンスク 楊 眞淑 (准教授)	社会言語学	英語使用と社会構造との関連／言語政策

\*\*2024年3月退職予定

\*\*\*2025年3月退職予定

### 【人間科学分野】

人間・社会・文化に関する諸課題に対して、深い科学的認識とその幅広い総合化によって、人間科学、社会科学の多様な専門領域を横断した学際的な教育研究を行います。博士後期課程においては、各研究領域においてさらに高度な専門性を身につけることにより、問題のより深い理解と課題解決に向けた、知の体系とその応用方法を構築する研究者を育成します。

▶▶ 博士後期課程 担当教員 (2022年4月現在)

氏名	研究領域	研究内容
酒井 隆史 (教授)	社会思想史 都市社会学	都市論(都市社会論、都市文化論、都市史) / 社会思想史(権力、暴力、戦争など)
西田 芳正 (教授)	教育社会学 社会的排除論	貧困層・マイノリティの子ども・若者の家族・学校・地域での生活と教育・地位達成 / 社会的排除の学校・地域での顕在化の様態
廣岡 浄進 (准教授)	文化交流史 日本近現代史	部落問題論 / 日本学 / 帝国史研究(植民地統治下の朝鮮近現代史、在満朝鮮人問題) / マイノリティ研究 / 差別論
乾 順子 (准教授)	ジェンダー研究 家族社会学	性別分業の実態と変容 / 社会意識 / ケア労働(家事、介護) / 女性労働 / 家族の変容 / 計量分析
内藤 葉子 (准教授)	ジェンダー研究 政治思想・社会思想	ジェンダーと政治学・政治理論・政治思想 / ケアの倫理 / ドイツ思想史・ジェンダー史 / 身体性と主体性 / 共生と社会
東 優子 (教授)	ジェンダー研究 性科学	性の健康と権利をめぐる諸問題、身体の自律とインテグリティ
伊井 直比呂** (教授)	教育人権論 国際教育・社会科教育	「人権としての教育」という観点から教育政策・教育制度を考える / 「持続可能な社会」など UNESCO 国際教育(国際理解教育)の教育現場への適用
上柿 崇英 (准教授)	環境哲学 現代人間学	環境論 / 持続可能性論 / 人間存在論 / 信頼の哲学
森岡 次郎 (准教授)	教育哲学 教育思想史	教育における「他者」概念に関する研究 / 教育・福祉の言説と実践に関する研究
吉田 敦彦*** (教授)	教育人間学 人間形成論	ブーバー人間学とホリスティック教育 / オルタナティブ教育(シュタイナー教育ほか)
池平 紀子 (准教授)	中国思想史	六朝時代から隋・唐代にかけての三教(儒教・仏教・道教)交渉史 / 特に中国撰述仏教經典(疑經・偽經)と道教經典との関係
山東 功 (教授)	日本語学 日本思想史	近世漢学・国学・蘭学言語思想史 / 近代における「国語」の成立 / 日系移民社会の言語
住友 陽文 (教授)	日本近現代史	「大正デモクラシー」の研究 / 立憲主義思想と国体論の関係論 / 原子力開発と 55 年体制の研究
秋庭 裕** (教授)	宗教社会学 比較社会学	欧米における日本型新宗教研究
上村 隆広 (教授)	社会システム論・ 社会理論・社会学史	社会学・社会理論(学説・学史研究、特に英・独語圏における社会システム論) / モビリティとツーリズム社会研究
福田 珠己 (教授)	文化地理学	場所・自然に関する文化地理学的研究 / 「ホーム」概念についてのフェミニスト地理学的研究 / ヘリテージ・スタディーズ / 地理思想研究
藤田 渡 (准教授)	環境社会学	東南アジアでの自然資源の持続的利用をめぐる政治・社会過程 / 産業用作物の栽培拡大が地域の社会生態に与える影響 / 科学的知識の権力性と地域社会の抵抗戦略
水野 真彦 (教授)	経済地理学	知識・企業間ネットワーク・産業集積に関する経済地理学的研究
宮脇 幸生** (教授)	環境人類学 比較社会学	グローバリゼーション下における周辺国家の政治経済的变化と、少数民族の環境利用・文化・民族アイデンティティの変容 / エチオピア西南部の牧畜民社会研究

\*\*2024年3月退職予定

\*\*\*2025年3月退職予定

### 【社会福祉学分野】

少子高齢化や社会的格差の拡大などから生じる問題を科学的に分析し、解決の知見を生成するには、根拠に基づいた実践や援助が必要です。これは、現代社会の課題を深く問い直し、社会福祉の価値を再確認することを通して可能となります。博士後期課程では、社会福祉に関して高度な専門的能力を持つ職業人や、社会福祉学の新たな地平につながる、創造的な研究を生み出す自立した研究者を育成することを目指します。

#### ▶▶ 博士後期課程 担当教員 (2022年4月現在)

氏名	研究領域	研究内容
伊藤 嘉余子 (教授)	子ども家庭福祉論 社会的養護	社会的養護に関する国際比較／児童養護におけるソーシャルワーク・ケアワーク・レジデンシャルワーク／里親支援（フォスタリング）／社会的養護経験者の自立支援
木曾 陽子 (准教授)	保育学・発達支援	障害のある子どもやその家族に対する支援や保育に関する研究／保育者に対する研修や保育者の早期離職防止に関する研究／地域の子育て支援に関する研究
児島 亜紀子 (教授)	社会福祉原論 福祉哲学	ソーシャルワークの価値と倫理に関する研究／ソーシャルワークにおける哲学的課題の研究／社会福祉領域におけるジェンダー課題に関する研究
ジョン ホンギョ 全 泓奎 (教授)	社会的包摂論 社会的開発論	東アジアの貧困や排除、社会政策の生産主義モデル、社会的開発・社会的投資に関するアクションリサーチ
隅田 好美*** (教授)	医療福祉 歯科社会学	保健医療福祉領域におけるソーシャルワーク／介護予防（フレイル）に関する研究／難病患者への支援／癌患者への支援
関川 芳孝* (教授)	社会福祉法制論	社会福祉の法制度に関する研究（社会福祉法人制度、権利擁護、介護保険、障害者支援・差別解消、保育など）／施設運営に関する研究（労務管理・人材育成、第三者評価、苦情解決、リスクマネジメント、地域貢献など）
田垣 正晋 (教授)	障害者福祉論 障害者心理 質的研究論	障害者本人および家族の心理社会的問題に関する実証研究／障害者計画の運営管理等、自治体の障害者施策に関する研究／質的研究のあり方／障害者差別解消法への心理社会的アプローチ
山野 則子 (教授)	子ども家庭福祉 社会福祉方法論	児童虐待防止・スクールソーシャルワーク・子育て支援に関する研究
吉武 信二 (教授)	健康福祉・教育 スポーツ科学	効果的な健康維持増進／ダイエット、トレーニングの方法および支援に関する研究
吉田 直哉 (准教授)	保育学 教育人間学	戦後日本の保育理論史・実践史／保育カリキュラムの構想と保育の「質」の保証／保育者のライフヒストリー／保育士養成カリキュラムの改善

\*2023年3月退職予定

\*\*\*2025年3月退職予定

### 【心理学分野】

複雑化する現代社会の諸問題に心理学の視座から取り組む能力をさらに高めるため、博士前期課程における臨床心理学分野と認知行動科学分野の教員が博士後期課程の心理学分野をともに構成します。心理学分野では、人間・社会・文化についての心理学的認識と自らの専門領域における先端的知識の統合を旨とし、解決を求められる困難な課題にも対応できる専門的能力を涵養します。領域を横断した隣接諸領域との学問的交流を促進することにより、従来の枠組みにとらわれない発想にもとづく研究・教育を実現し、心理学に関するより深く幅広い知識を得て体系化することができる、自律的に研究を遂行する能力を備えた人材を育成します。

▶▶ 博士後期課程 担当教員 (2022年4月現在)

氏名	研究領域	研究内容
井手 亘* (教授)	社会心理学 組織心理学	組織行動/人事評価/仕事の動機づけ/社会的認知
岩佐 和典 (准教授)	感情心理学 臨床心理学	感情の機能/感性的質感の心理物理/心理査定/精神疾患の病態解明/慢性疾患の心理臨床
岡本 真彦 (教授)	学習科学 発達心理学	数の認知・発達過程/メタ認知/算数文章題の認知・メタ認知過程/学習支援システムの開発/ジェスチャーの発達
片畑 真由美 (准教授)	臨床心理学	イメージ体験および表現に関する心理臨床学的研究/プレイセラピーにおける主体の生成プロセス/箱庭・物語・描画における身体感覚の役割
河野 直子 (准教授)	老年心理学 臨床心理学	心理査定/加齢・精神疾患に伴う認知機能変化/高齢ドライバ特性/軽度認知障害・認知症の心理臨床
川原 稔久** (教授)	臨床心理学	心理療法に現れる夢、描画、箱庭などのイメージの研究/心理療法に現れる身体症状や身体感覚の治療的意義/イメージや身体が支える心理療法の主体に関する研究
川部 哲也 (准教授)	臨床心理学	主観的体験(既視体験など)に関する心理臨床学的研究/特殊環境(南極など)における心理的体験/自伝的記憶と発達障がいに関する研究
河村 悠太 (准教授)	社会心理学 進化心理学	評判/利他性/向社会的行動/社会的認知/共感
総田 純次 (教授)	精神病理学 臨床心理学	統合失調症、うつ病、境界例など「こころの病」の精神病理学的研究/心理療法(精神分析的療法)における投影性同一化の過程の研究
高橋 幸治 (准教授)	臨床心理学	イメージの創造性や身体性に着目した心理療法の研究/イメージを利用したグループアプローチ/教育現場での心理療法的関わり
飛田 国人 (准教授)	環境心理学 建築環境工学	都市・建築環境の心理生理評価/温熱的快適性/熱中症やヒートショックの予防
野津 亮 (教授)	認知情報学 ソフトコンピューティング	認知モデル/学習アルゴリズム/エージェントシミュレーション/最適化アルゴリズム
畑野 快 (准教授)	パーソナリティ心理学 青年心理学	アイデンティティ/パーソナリティ/動機づけ/心理的健康
牧岡 省吾 (教授)	認知心理学 認知科学	共感覚/視覚的単語認知/非意識過程/記憶/言語獲得/ニューラルネットワーク

\*2023年3月退職予定

\*\*2024年3月退職予定

## 現代システム科学研究科 博士後期課程 教員メールアドレス一覧

※[at] は@で置き換えてください。

### 【環境共生科学分野】

氏 名	メールアドレス
生田 英輔 (教授)	ikuta[at]omu.ac.jp
伊藤 康人 (教授)	yasuto.itoh[at]omu.ac.jp
遠藤 崇浩 (教授)	endo[at]omu.ac.jp
大塚 耕司 (教授)	otsuka[at]omu.ac.jp
大山 克己 (教授)	ohyama[at]omu.ac.jp
興津 健二 (教授)	okitsu[at]omu.ac.jp
黒田 桂菜 (准教授)	kuroda.kana[at]omu.ac.jp
下村 泰彦 (教授)	simomura[at]omu.ac.jp
竹中 規訓 (教授)	takenaka-nor[at]omu.ac.jp
千葉 知世 (准教授)	t.chiba[at]omu.ac.jp
天畠 華織 (准教授)	tembata[at]omu.ac.jp
中山 祐一郎 (教授)	uja[at]omu.ac.jp
花村 周寛 (准教授)	z21723p[at]omu.ac.jp
星 英之 (准教授)	hhoshi[at]omu.ac.jp
吉川 丈 (准教授)	t.yoshikawa[at]omu.ac.jp

### 【言語文化学分野】

氏 名	メールアドレス
青木 賜鶴子 (教授)	shiz[at]omu.ac.jp
奥村 和子 (准教授)	okuk[at]omu.ac.jp
相田 洋明 (教授)	sodahiroaki[at]omu.ac.jp
高木 佐知子 (教授)	stakagi[at]omu.ac.jp
西尾 純二 (教授)	njunji[at]omu.ac.jp
西田 正宏 (教授)	nymar[at]omu.ac.jp
山崎 正純 (教授)	yms[at]omu.ac.jp
ヤン ジンスク 楊 眞淑 (准教授)	yang[at]omu.ac.jp

### 【人間科学分野】

氏 名	メールアドレス
酒井 隆史 (教授)	x21945t[at]omu.ac.jp
西田 芳正 (教授)	yo-nishida[at]omu.ac.jp
廣岡 浄進 (准教授)	hirooka[at]omu.ac.jp
乾 順子 (准教授)	inui[at]omu.ac.jp

氏 名	メールアドレス
内藤 葉子 (准教授)	ynaito[at]omu.ac.jp
東 優子 (教授)	higashi[at]omu.ac.jp
伊井 直比呂 (教授)	naoii[at]omu.ac.jp
上柿 崇英 (准教授)	t-uegaki[at]omu.ac.jp
森岡 次郎 (准教授)	j-moriok[at]omu.ac.jp
吉田 敦彦 (教授)	atsu[at]omu.ac.jp
池平 紀子 (准教授)	n.ikehira[at]omu.ac.jp
山東 功 (教授)	santo[at]omu.ac.jp
住友 陽文 (教授)	sumitomo[at]omu.ac.jp
秋庭 裕 (教授)	akibayuh[at]omu.ac.jp
上村 隆広 (教授)	uemura.takahiro[at]omu.ac.jp
福田 珠己 (教授)	tamamif[at]omu.ac.jp
藤田 渡 (准教授)	watarufujita[at]omu.ac.jp
水野 真彦 (教授)	mmizuno[at]omu.ac.jp
宮脇 幸生 (教授)	yukio[at]omu.ac.jp

**【社会福祉学分野】**

氏 名	メールアドレス
伊藤 嘉余子 (教授)	itokayo[at]omu.ac.jp
木曾 陽子 (准教授)	kiso[at]omu.ac.jp
児島 亜紀子 (教授)	akikojima[at]omu.ac.jp
ジョン ホンギョ 全 泓奎 (教授)	francisjeonhg[at]omu.ac.jp
隅田 好美 (教授)	sumida[at]omu.ac.jp
関川 芳孝 (教授)	sekikawa[at]omu.ac.jp
田垣 正晋 (教授)	tagaki[at]omu.ac.jp
山野 則子 (教授)	yamano[at]omu.ac.jp
吉武 信二 (教授)	shin[at]omu.ac.jp
吉田 直哉 (准教授)	yoshidanaoya[at]omu.ac.jp

**【心理学分野】**

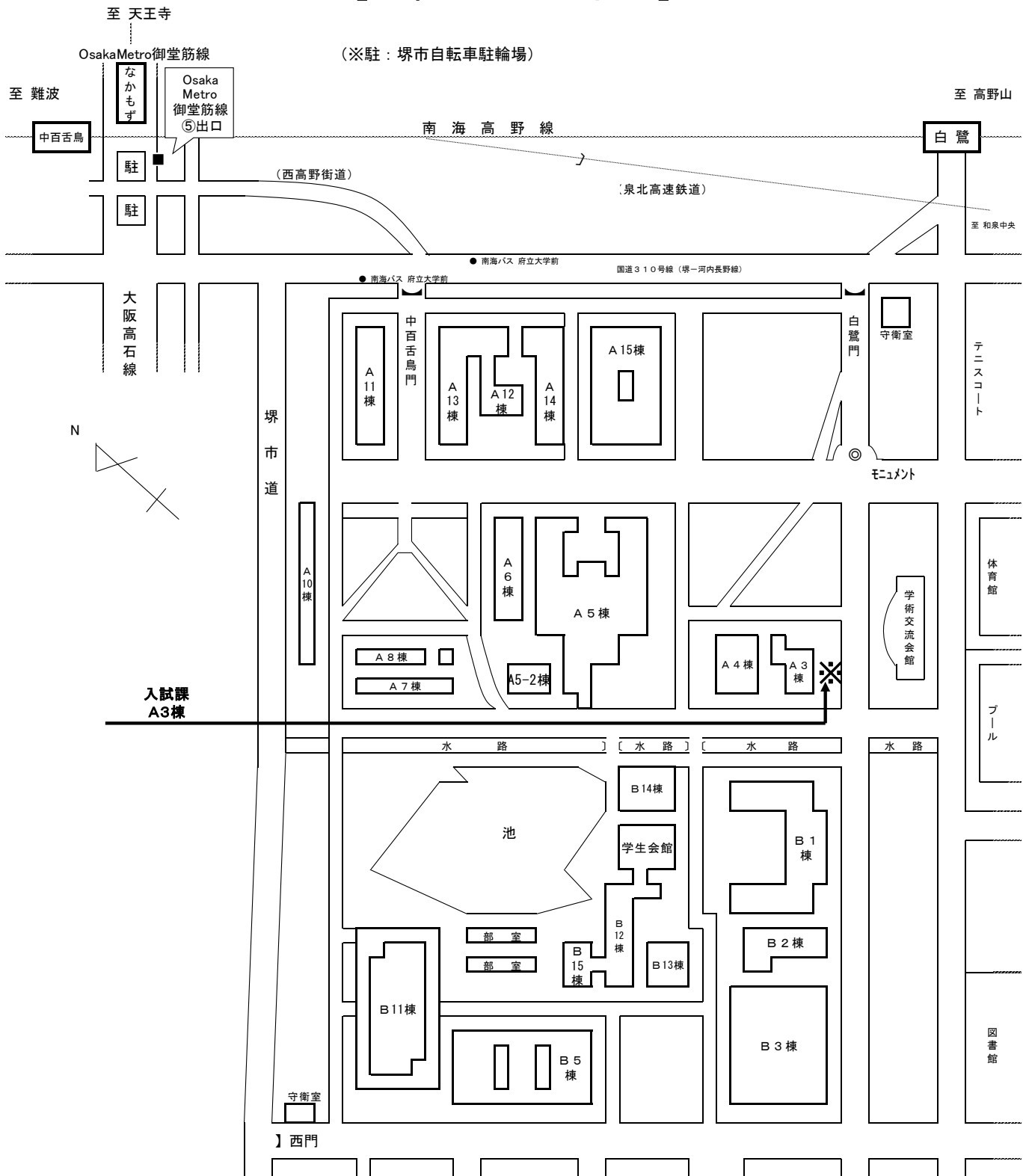
氏 名	メールアドレス
井手 亘 (教授)	ide[at]omu.ac.jp
岩佐 和典 (准教授)	kaiwasa[at]omu.ac.jp
岡本 真彦 (教授)	mokamoto[at]omu.ac.jp
片畑 真由美 (准教授)	katahata[at]omu.ac.jp
河野 直子 (准教授)	nkawano[at]omu.ac.jp
川原 稔久 (教授)	kawahara[at]omu.ac.jp

<D 教員メールアドレス一覧>

氏 名	メールアドレス
川部 哲也 (准教授)	kawabet[at]omu.ac.jp
河村 悠太 (准教授)	ykawamura[at]omu.ac.jp
総田 純次 (教授)	souda60[at]omu.ac.jp
高橋 幸治 (准教授)	koji[at]omu.ac.jp
飛田 国人 (准教授)	tobita[at]omu.ac.jp
野津 亮 (教授)	notsu[at]omu.ac.jp
畑野 快 (准教授)	kai.hatano[at]omu.ac.jp
牧岡 省吾 (教授)	makioka[at]omu.ac.jp



# 【 案 内 図 】



## 〔道順〕

- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m。
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m。
- ・OsakaMetro御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約1,000m。
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」・OsakaMetro御堂筋線「なかもず駅」から南海バス(北野田駅前行)で約5分、「府立大学前」下車。
- ・南海本線「堺駅」から南海バス(北野田駅前行)で約24分、JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス(北野田駅前行)で約14分、「府立大学前」下車。
- ・関西国際空港からJR関西空港線(天王寺、京橋方面行き快速)で約40分「三国ヶ丘駅」下車。南海高野線(河内長野行き普通)に乗り換え「中百舌鳥駅」で下車、または南海バス(北野田行き)に乗り換え「大阪府立大学前」下車。

(注) 試験場への自動車、単車の乗り入れは、禁止します。

## 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

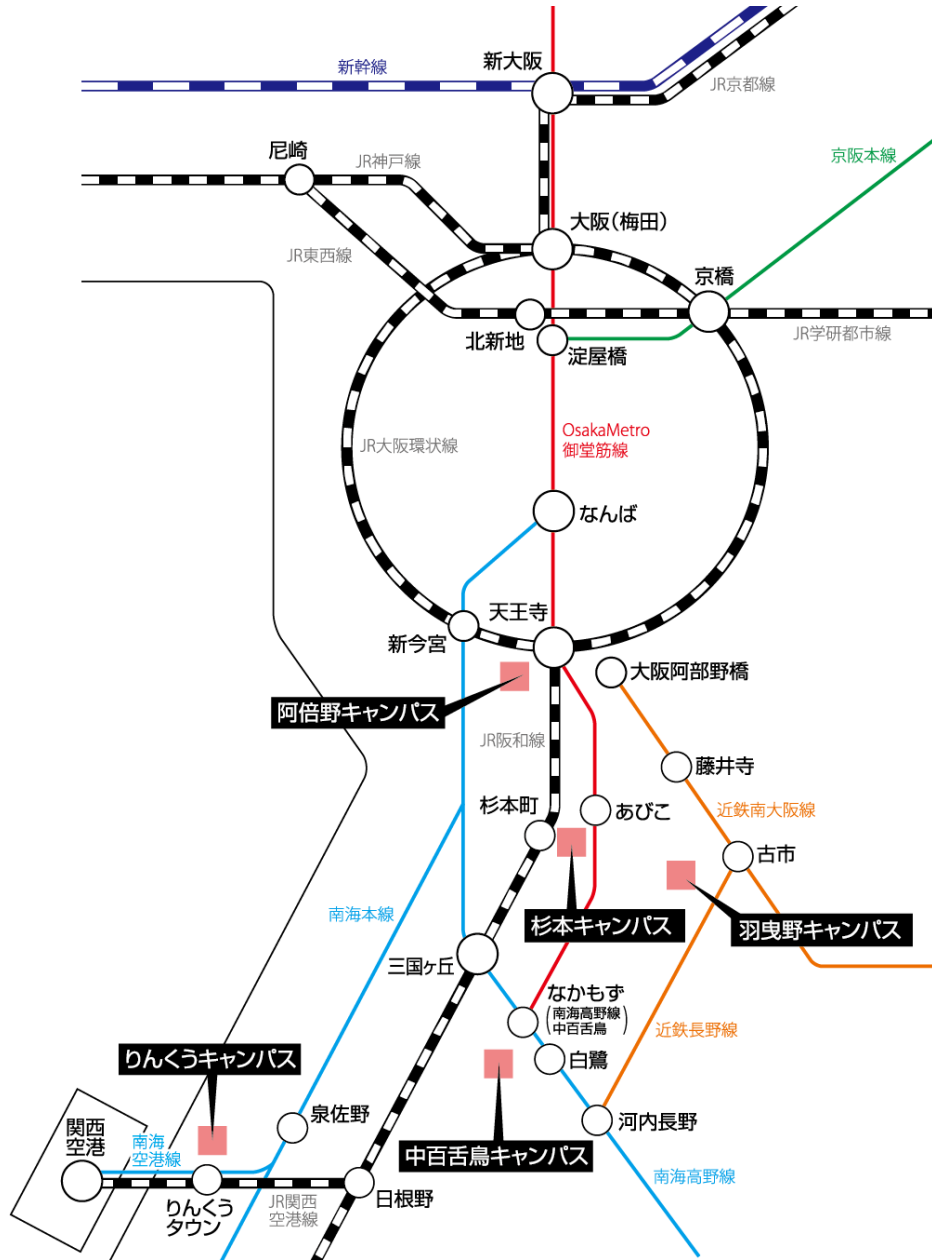
入試課 現代システム科学研究科担当

(所在地) 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号(A3棟3階)

(Tel) 072-254-8319 (入試課直通)

(Fax) 072-254-9902

# 交通アクセス



### ■ 中百舌鳥キャンパス

- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分